



2023年3月期決算報告

2023年5月11日

株式会社 **ニコン**

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
2. 2023年3月期 決算報告
3. 2024年3月期 通期見通し

現状認識

● PBRの改善は経営上の重要課題

- 株主資本コストを意識したROE目標（25年度：8%以上）を2022年4月に公表
- ROEは21年度、22年度は7%台で推移。23年度はビジネスサイクルの関係等からROEは5%台の見通し
- 低PBRの要因は、23年度減益見通しによる予想ROE低下と、同業他社比低いPERにあり、**成長事業の早期立ち上げが課題**
- 業績の安定化に伴い、より**資本効率を意識したBS運営**が可能に

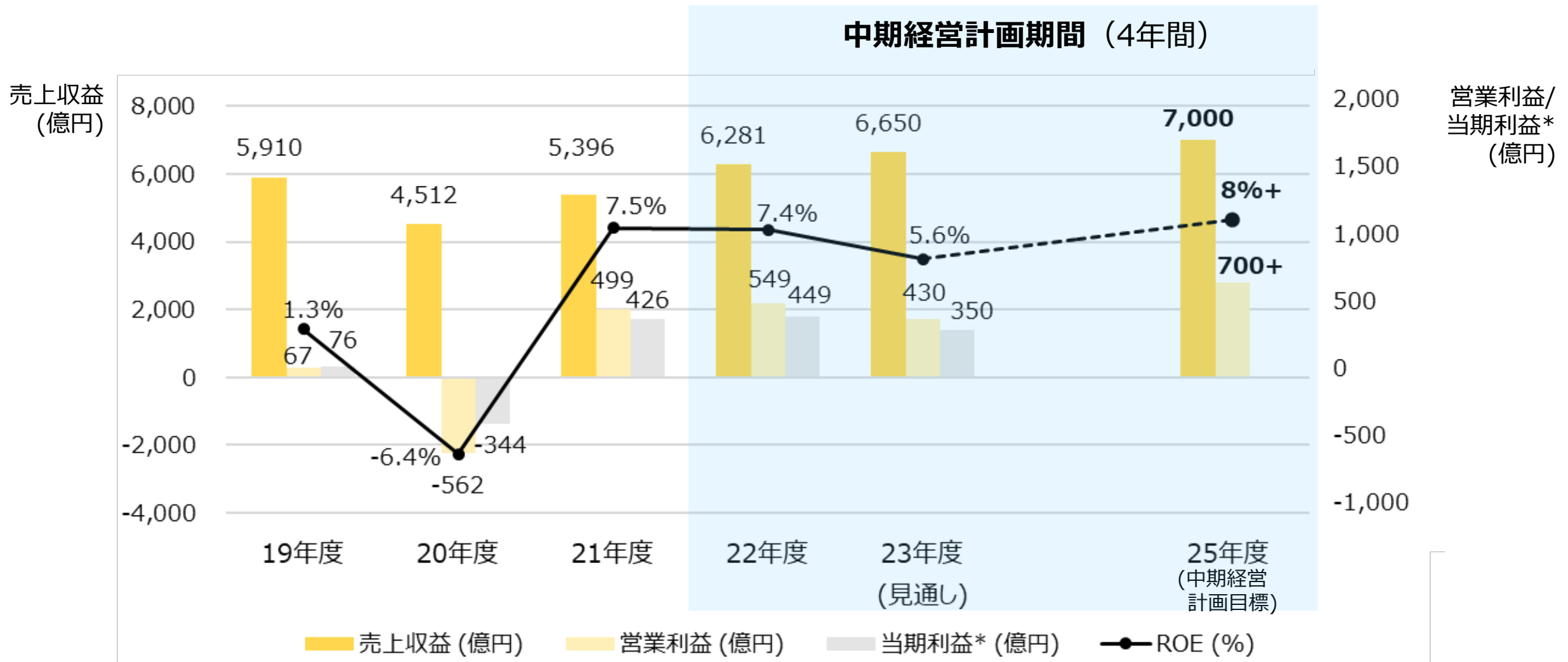
方針

- **中期経営計画財務目標（25年度：ROE8%以上、営業利益率10%以上、売上収益7,000億円）の達成を目指す**
- 中期経営計画の資本配分方針に基づき、**成長投資（戦略投資・R&D・設備投資）と株主還元の双方を推進**

具体策

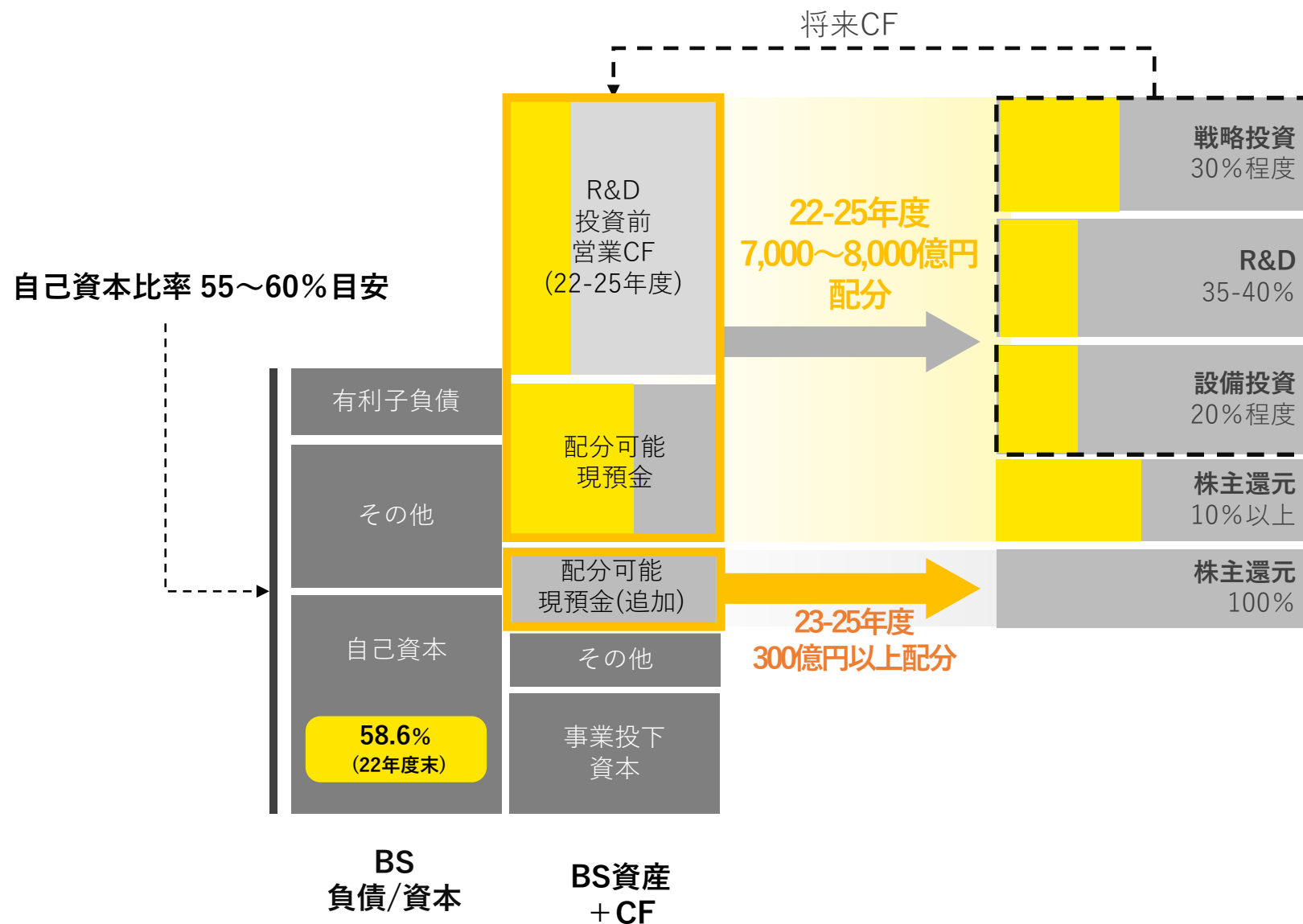
- **24年度の業績回復に向けた施策実行**（ミラーレスカメラおよび半導体ArF液浸露光装置で新商品投入等）
- **成長事業に関する開示の充実**（9月のIR Dayでヘルスケア事業・デジタルマニュファクチャリング事業につき説明予定）
- **ROEを含む財務指標と連動した役員報酬制度**（22年度から適用中）
- **サステナビリティ戦略と一体化した成長戦略の推進。業界トップクラスのESG外部評価の維持**
- **「25年度1株当たり配当60円目標」に向け配当漸増**（22年度配当：5円増配の45円、23年度配当：50円予想）
- **中期経営計画期間中に、300億円以上の機動的自己株式取得**

中期経営計画財務目標： 25年度に売上収益7,000億円、営業利益率10%以上、ROE8%以上



注：本資料で使用している数値は億円未満切り捨て
* 親会社の所有者に帰属する当期利益

資本配分方針に基づき、「成長投資」と「株主還元」双方を推進



・総額 約880億円で独SLM社の買収を決定

・総還元性向（目標40%以上）は300億円の自己株式取得により、初年度実績102%

・政策保有株売却等、BSの効率化で創出する現預金で自己株式取得を機動的に実施

中期経営計画期間中の「株主還元方針」



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
		中期経営計画期間 (4年間)			
1株当たり配当	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 期末 20円 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 中間 20円 </div>	<p style="text-align: center;">従来予想比 期末5円増配</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 期末 25円 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 中間 20円 </div>	<p style="text-align: center;">50円予定</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 期末 25円 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 中間 25円 </div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 年間 50~60 円 </div>	<p style="text-align: center;">60円目標</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 年間 60円 </div>
自己株式取得		<p style="text-align: center;">300億円 実施済 (発行済株式数の 5.7%相当)</p>	中期経営計画期間中に300億円以上を機動的に実施		
戦略投資		<p style="text-align: center;">SLM社買収 約880億円</p>	継続的に検討		

企業価値の向上を目指した役員報酬制度



業績連動重視の役員報酬制度 – 中期経営計画初年度（22年度）から適用中

- 役員報酬制度は、企業価値の持続的な向上との連動性を重視
- 固定報酬と業績連動報酬の割合は、役位に応じて1：1～1：1.375

報酬ミックスと主なKPI

CEOの例	固定報酬	業績連動報酬		
	月例定額報酬	短期業績 賞与	中期業績 業績連動型株式ユニット（PSU）	長期業績 譲渡制限付株式（RS）
報酬比率	1	0.7	0.225	0.45
連動対象KPI	—	「連結営業利益額」 「ROE」	中期経営計画重要課題である 「成長ドライバー(*1)の営業利益額」、 「サービス・コンポーネント営業利益額」 および 「サステナビリティ戦略」「人的資本経営」 関連KPIの達成度 等	(退任時までの譲渡制限あり)
連動幅	—	0～200%	0～150%	株価連動
支給方法	金銭		株式	
マルス・クローバック(*2)	対象			

(*1) 「光学・EUV関連コンポーネント」「材料加工・ロボットビジョン」「デジタル露光」「映像コンテンツ」「細胞受託生産・創薬支援」の5領域

(*2) マルス：権利が確定したインセンティブ報酬について、役員の不平等が発覚した場合に報酬支給前に減額あるいは取りやめる条項、クローバック：同様の場合に、支給した報酬を返還させる条項

ニコンの企業理念「信頼と創造」

社会の期待に「信頼」で応える + 「創造」を通じて社会に貢献する

12のマテリアリティ
(重点課題)

「創造」を通じて
社会に貢献する

社会の期待に
「信頼」で応える



事業

インダストリー

②信頼に応える品質の維持・向上



環境

③脱炭素化の推進
④資源循環の推進
⑤汚染防止と生態系への配慮

①コア技術による
社会価値創造

クオリティオブライフ



社会・労働

⑥レジリエントなサプライチェーンの構築
⑦人権の尊重
⑧ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン
⑨従業員の健康と安全



ガバナンス

⑩コンプライアンスの徹底
⑪コーポレート・ガバナンスの強化
⑫リスクマネジメントの強化

中期経営計画の
サステナビリティ戦略は
目標に向け順調に進捗

- 22年度、事業所からの温室効果ガス**30%削減実現**（13年度比、25年度目標46.5%）
- 主力生産拠点であるタイ・栃木で、**23年度から100%再生可能エネルギーへ移行予定**
- **ニコングローバルDEIポリシー**制定、多様性を活かす経営に向けグローバル全拠点で施策展開
- 22年度**新卒女性採用比率32%**（目標25%）、25年度の女性管理職比率8%に向け注力

高い外部評価を維持

- DJSIではニコンが属する産業グループで世界でトップのスコア獲得。MSCIではAAA格を取得

CDP 気候変動 (英国)	Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) (スイス・米国) World	Sustainalytics (オランダ) ESGリスク評価 (20.0以下 リスク低)	MSCI ESG Ratings (米国)	GPIFによるESG投資				
				MSCIジャパン ESG セレクト・ リーダーズ指数	MSCI 日本株女性 活躍指数 (WIN)	S&P/JPX カーボン・エフ シエント指数	FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
A	採用	15.9	AAA格	採用	採用	採用	採用	採用

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2. 2023年3月期 決算報告

3. 2024年3月期 通期見通し

売上収益
6,281億円

- 前年比： **885億円増** (前回予想比 19億円減)
 - 精機事業を除く全セグメントで大幅増収
 - 映像事業は、円安効果や中高級機カメラへのシフトが進展したことにより平均販売単価が上昇し増収
 - ヘルスケア事業は、ライフサイエンス（生物顕微鏡）、アイケア（網膜画像診断機器）の売上拡大
 - コンポーネント事業は、EUV関連コンポーネントや光学部品・光学コンポーネントの売上拡大

営業利益
549億円

- 前年比： **50億円増** (前回予想比 1億円減)
 - 精機事業を除く全セグメントで増益、特に映像事業とヘルスケア事業は円安効果もあり大幅増益
 - 全社ベースでは、FPD露光装置事業の大幅減益や全社費用増加によって50億円の増益に留まる

当期利益*
449億円

- 前年比： **23億円増** (前回予想比 29億円増)

株主還元

- 年間配当金45円：中間配当金20円、期末配当金25円（前回予想から期末5円増配）
- 自己株式の取得：300億円実施済
- 自己株式の消却：取得した300億円（2,145万株）に加え、保有する500万株を消却

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年3月期 通期：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期		23年3月期		前年比		前回予想比	
	実績	前回予想 (2/9)	実績	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上収益	5,396	6,300	6,281	+885	+16.4%	▲19	▲0.3%	
営業利益 営業利益率	499 9.3%	550 8.7%	549 8.7%	+50	+10.0%	▲1	▲0.2%	
税引前利益 税引前利益率	570 10.6%	570 9.0%	570 9.1%	±0	▲0.1%	±0	+0.1%	
当期利益* 当期利益率	426 7.9%	420 6.7%	449 7.2%	+23	+5.3%	+29	+7.0%	
ROE	7.5%	7.0%	7.4%	▲0.1P	-	+0.4P	-	
FCF	309	-	▲1,121	▲1,430	-	-	-	
年間配当	40円	40円	45円	+5円	-	+5円	-	
為替：USD	112円	135円	135円	売上収益への影響（億円）				
				+498		+10		
ユーロ	131円	139円	141円	営業利益への影響（億円）				
				+147		▲5		

前年比で売上収益、営業利益、当期利益は増加。FCF大幅マイナスはSLM社買収による

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年3月期 通期：セグメント別業績

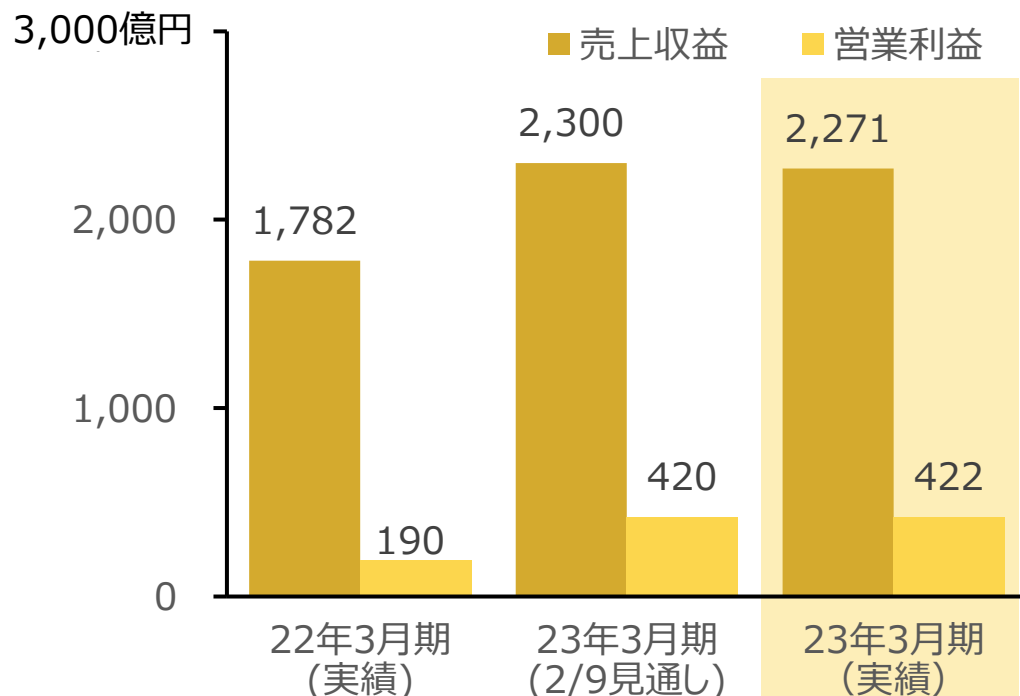


単位：億円		22年3月期 実績	前回予想 (2/9)	23年3月期 実績	前年比		前回予想比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
映像事業	売上収益	1,782	2,300	2,271	+489	+27.4%	▲29	▲1.3%
	営業利益	190	420	422	+232	+121.4%	+2	+0.5%
	営業利益率	10.7%	18.3%	18.6%	+7.9P		+0.3P	
精機事業	売上収益	2,112	2,100	2,032	▲80	▲3.8%	▲68	▲3.2%
	営業利益	394	240	243	▲151	▲38.2%	+3	+1.6%
	営業利益率	18.7%	11.4%	12.0%	▲6.7P		+0.6P	
ヘルスケア事業	売上収益	732	930	993	+261	+35.7%	+63	+6.9%
	営業利益	43	80	115	+72	+164.1%	+35	+44.8%
	営業利益率	6.0%	8.6%	11.7%	+5.7P		+3.1P	
コンポーネント事業	売上収益	408	530	539	+131	+32.0%	+9	+1.8%
	営業利益	127	180	146	+19	+15.3%	▲34	▲18.5%
	営業利益率	31.1%	34.0%	27.2%	▲3.9P		▲6.8P	
産業機器・その他	売上収益	360	440	443	+83	+23.1%	+3	+0.9%
	営業利益	29	35	36	+7	+22.4%	+1	+3.6%
	営業利益率	8.2%	8.0%	8.2%	±0.0P		+0.2P	
全社費用等	営業利益	▲286	▲405	▲415	▲129	-	▲10	-
連結	売上収益	5,396	6,300	6,281	+885	+16.4%	▲19	▲0.3%
	営業利益	499	550	549	+50	+10.0%	▲1	▲0.2%
	営業利益率	9.3%	8.7%	8.7%	▲0.6P		±0.0P	

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」を「全社費用等」へ名称変更

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「全社費用等」に移管、2022年3月期へ遡及適用

2023年3月期 通期：映像事業



● 売上収益：前年比 489億円増収（前回予想比 29億円減収）

- 部品調達制約が解消し、レンズ交換式デジタルカメラの市場は拡大
- 当社は、ミラーレスカメラおよびミラーレスカメラ用交換レンズへのシフトが進展
- 中でも、プロ・趣味層をターゲットとした中高級機カメラへ注力し、平均販売価格が上昇
- 円安効果も加わり、増収

● 営業利益：前年比 232億円増益（前回予想比 2億円増益）

- 中高級機カメラの販売台数増加、平均販売単価上昇に加え、円安効果により、大幅増益

レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	512	580	581
ニコン	70	70	70

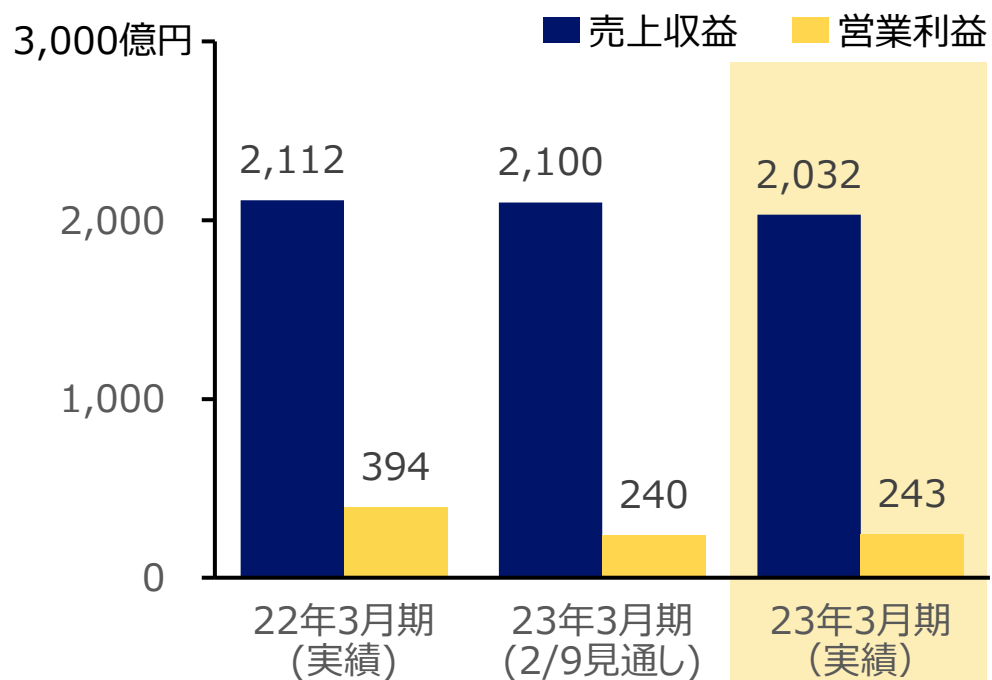
交換レンズ (万本)

市場規模	939	980	940
ニコン	127	115	116

レンズ一体型デジタルカメラ (万台)

市場規模	272	200	199
ニコン	19	10	11

注：レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）



FPD露光装置販売台数 (台)

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (2/9見通し)	23年3月期 (実績)
市場規模 (CY21/22)	116	79	79
ニコン	46	29	29

半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

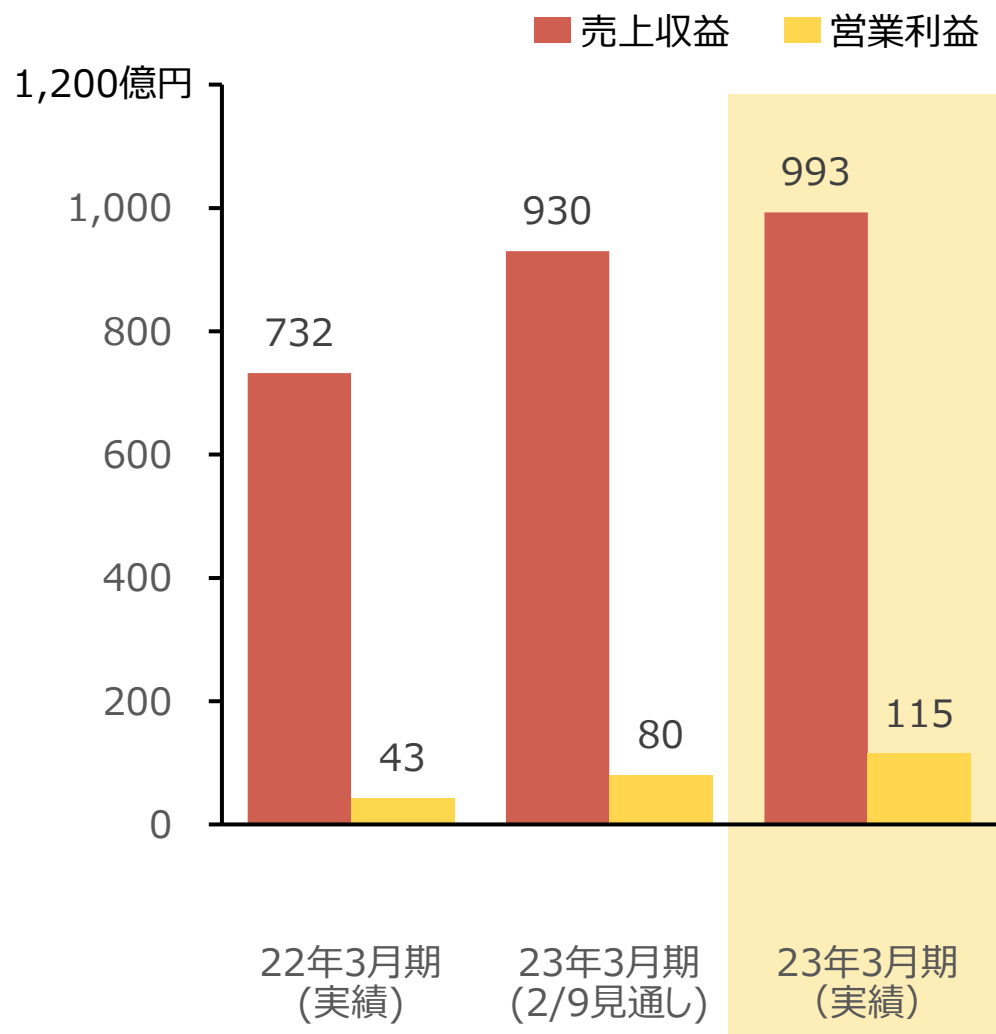
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (2/9見通し)	23年3月期 (実績)
市場規模 (CY21/22)	390	480	480
ニコン	17/18	28/18	27/18

● 売上収益：前年比 80億円減収 (前回予想比 68億円減収)

- FPD露光装置はパネル価格下落に伴い顧客の設備投資が縮小したことにより、販売台数は前年比減少し減収
- 半導体露光装置はArF露光装置を中心に新品装置の販売台数が増加したことにより、前年比増収
- 前回予想比では、ArF液浸露光装置の1台翌期繰延を主因に下振れ

● 営業利益：前年比 151億円減益 (前回予想比 3億円増益)

- 前年比では、半導体露光装置は販売台数増となるも、FPD露光装置の販売台数減により、精機事業全体では減益



● 売上収益：前年比 261億円増収 (前回予想比 63億円増収)

- ライフサイエンス（生物顕微鏡）は、北米を中心に、中国、その他地域において新製品の拡販および民間市場の拡販が進展
- アイケア（網膜画像診断機器）は、北米での大口受注に加え、アジアでの売上増加
- 円安効果もあり、大幅増収
- 前回予想比では、部品・物流逼迫の影響の最小化により大幅上振れ

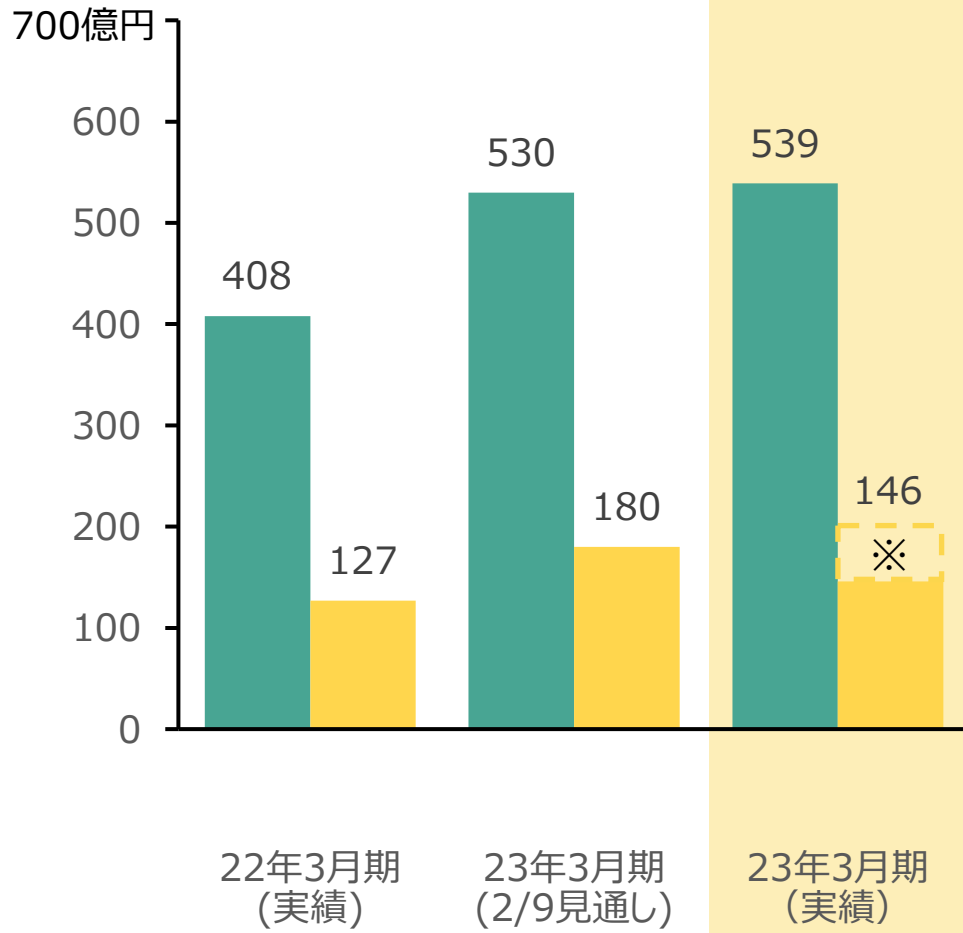
● 営業利益：前年比 72億円増益 (前回予想比 35億円増益)

- ライフサイエンス、アイケアの増収効果および円安効果により大幅増益

2023年3月期 通期：コンポーネント事業



■ 売上収益 ■ 営業利益



● 売上収益：前年比 131億円増収 (前回予想比 9億円増収)

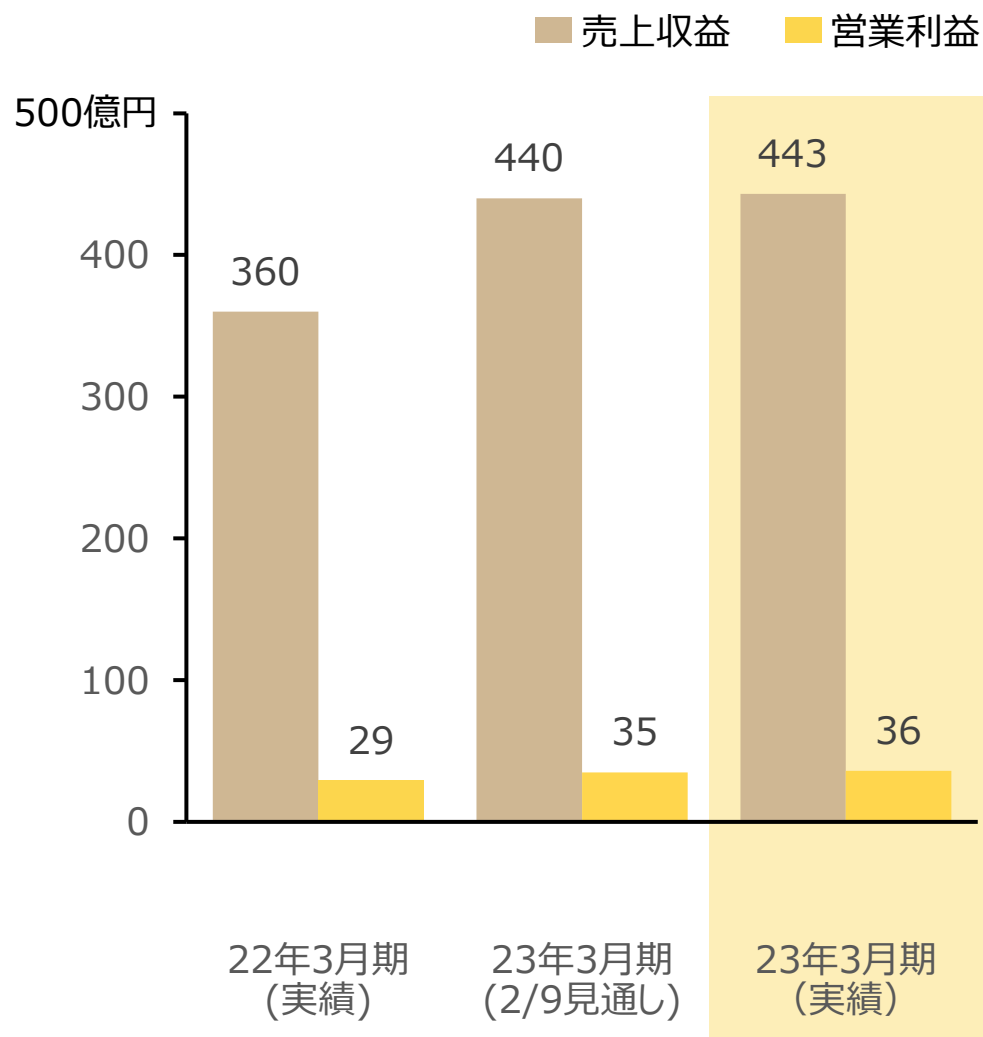
- EUV関連コンポーネント、半導体関連製品向けの光学部品・光学コンポーネントやFPDフォトマスク基板等が売上拡大に寄与

● 営業利益：前年比 19億円増益 (前回予想比 34億円減益)

- 前年比では、売上拡大に伴う増収効果により増益
- 前回予想比では、Morf3D社減損損失39億円を除き、ほぼ想定どおり
- Morf3D社は付加加工の受託ビジネスを行う米国子会社。2023年4月より、デジタルマニュファクチャリング事業に移管 (減損の背景等はスライド29ご参照)

※ Morf3D社に関する減損損失

2023年3月期 通期：産業機器・その他



● 売上収益：前年比 83億円増収 (前回予想比 3億円増収)

- 産業機器事業では、画像測定システムやX線/CT検査装置等の販売が堅調で前年比増収
- 「その他」に含まれるSLM社の新規連結により、前年比増収

※ SLM社は23年度より、デジタルマニュファクチャリング事業に移管

● 営業利益：前年比 7億円増益 (前回予想比 1億円増益)

- 産業機器事業は、増収効果により増益
- 「その他」に含まれる国内生産子会社は増益
- SLM社買収により取得した無形資産の償却費負担を第4四半期分のみ計上 (SLM社買収に伴う償却費負担等はスライド29ご参照)

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
2. 2023年3月期 決算報告
3. 2024年3月期 通期見通し

売上収益
6,650億円

● **全社見通し：前年比369億円増収**

- 映像事業は、ミラーレスカメラの販売台数増加により増収
- 精機事業は、FPD露光装置事業の減収を半導体装置事業の増収が上回り、増収
- デジタルマニュファクチャリング事業は、前期に連結子会社化したSLM社が年間を通じて寄与し、増収

営業利益
430億円

● **全社見通し：前年比119億円減益**

- 映像事業は、市場の正常化や円安効果の剥落に伴い減益となるも、高い収益性を維持
- 精機事業は、FPD露光装置事業の減益を半導体装置事業の増益で打ち返せず、減益
- ヘルスケア事業・コンポーネント事業は、ビジネス拡大基調が続き堅調
- 新設のデジタルマニュファクチャリング事業は、SLM社買収に伴う償却費負担や研究開発費負担で営業赤字からのスタート

当期利益*
350億円

● **全社見通し：前年比99億円減益**

株主還元

- **前年比5円増配の年間配当金50円（中間配当金25円、期末配当金25円） 予定**

為替前提

- **USドル：130円、ユーロ：140円**

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2024年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 実績	24年3月期 見通し	前年比	
			増減額	増減率
売上収益	6,281	6,650	+369	+5.9%
営業利益	549	430	▲119	▲21.7%
営業利益率	8.7%	6.5%		
税引前利益	570	460	▲110	▲19.4%
税引前利益率	9.1%	6.9%		
当期利益*	449	350	▲99	▲22.1%
当期利益率	7.2%	5.3%		
ROE	7.4%	5.6%	▲1.8P	-
EPS	125.46円	101.11円	▲24.35円	-
年間配当	45円	50円	+5円	-
為替：USドル	135円	130円	売上収益への予想影響 (億円)	
			▲101	
ユーロ	141円	140円	営業利益への予想影響 (億円)	
			▲24	

注：EPS（基本的 1 株当たり当期利益）= 当期利益 ÷ 期中平均株式数（2023年3月期実績は約3.58億株で計算、2024年3月期見通しは約3.46億株で計算）

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

開示セグメント変更



旧セグメント	事業部		事業部		新セグメント
映像事業	映像事業部		映像事業部		映像事業
精機事業	FPD装置事業部		精機事業本部	FPD装置事業部	精機事業
	半導体装置事業部			半導体装置事業部	
ヘルスケア事業	ヘルスケア事業部		ヘルスケア事業部		ヘルスケア事業
コンポーネント事業	カスタムプロダクツ事業部		カスタムプロダクツ事業部		コンポーネント事業
	ガラス事業室		ガラス事業室		
	デジタルソリューションズ事業部	光学コンポーネント他	デジタルソリューションズ事業部		
		材料加工 (含むMorf3D社)			
産業機器・その他	産業機器事業部		産業機器事業部		デジタルマニュファクチャリング事業
	その他		アドバンストマニュファクチャリング事業部		
		SLM社	その他 ※		
全社費用等	親会社の本部部門		親会社の本部部門		全社費用等
		次世代プロジェクト本部	次世代プロジェクト本部		

材料加工ビジネスを行う部署・子会社等を「アドバンストマニュファクチャリング事業部」に集約、「産業機器事業部」と合算して、「デジタルマニュファクチャリング事業」として開示（中期経営計画セグメントと同一）

※ 2024年3月期から、精機事業の国内生産会社を「その他」に含まれる生産本部へ移管

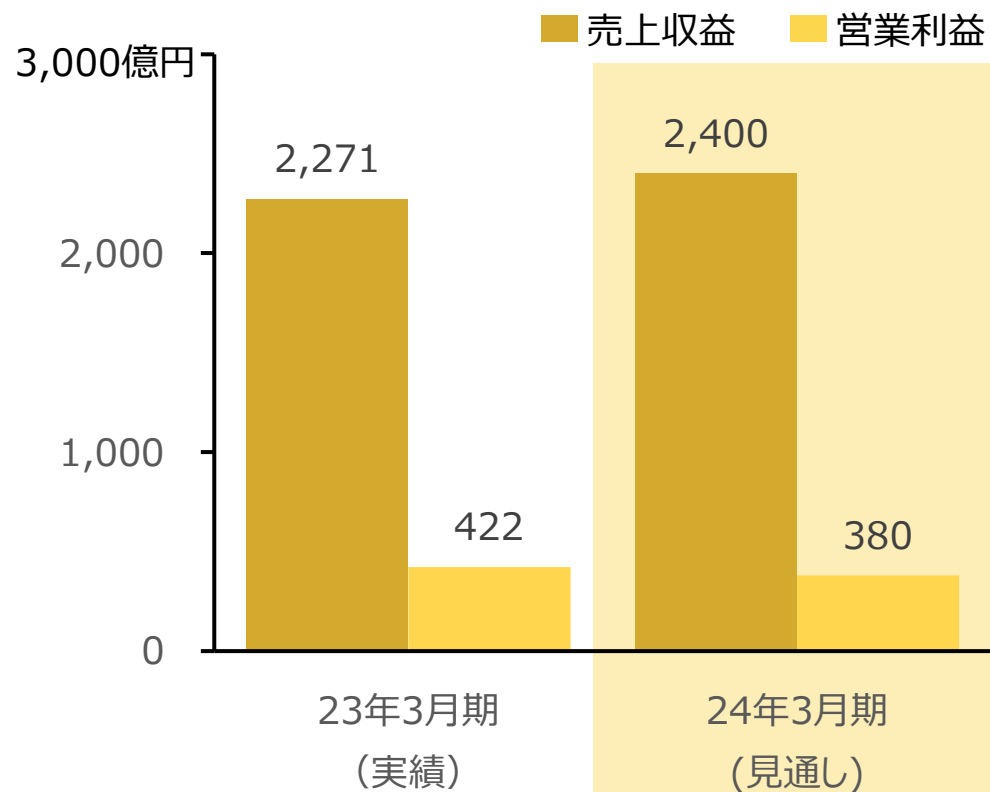
2024年3月期 通期見通し：セグメント別業績（新セグメント別）



単位：億円		23年3月期実績	24年3月期見通し	前年比	
				増減額	増減率
映像事業	売上収益	2,271	2,400	+129	+5.7%
	営業利益	422	380	▲42	▲10.0%
	営業利益率	18.6%	15.8%	▲2.8P	
精機事業	売上収益	2,032	2,100	+68	+3.3%
	営業利益	245	150	▲95	▲38.9%
	営業利益率	12.1%	7.1%	▲5.0P	
ヘルスケア事業	売上収益	993	950	▲43	▲4.4%
	営業利益	115	110	▲5	▲5.0%
	営業利益率	11.7%	11.6%	▲0.1P	
コンポーネント事業	売上収益	530	530	±0	▲0.1%
	営業利益	220	200	▲20	▲9.4%
	営業利益率	41.6%	37.7%	▲3.9P	
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	420	640	+220	+52.1%
	営業利益	▲101	▲90	+11	-
	営業利益率	▲24.1%	▲14.1%	+10.0P	
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	30	▲2	▲7.1%
	営業利益	▲353	▲320	+33	-
連結	売上収益	6,281	6,650	+369	+5.9%
	営業利益	549	430	▲119	▲21.7%
	営業利益率	8.7%	6.5%	▲2.2P	

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：映像事業



● 売上収益：前年比 129億円増収

- レンズ交換式デジタルカメラの市場は、初級機の縮小継続を予想
- 当社は、中高級機カメラへの注力を継続
- 新製品（Z 8等）上市によるミラーレスカメラやミラーレスカメラ用交換レンズの販売数量増加を見込む
- 商品ミックスの改善、平均販売単価上昇により増収

● 営業利益：前年比 42億円減益

- 部品調達制約解消、市場正常化に伴う販売促進費などの費用増加により減益
- 円安効果は減少の見通し
- 営業利益率は中期経営計画想定を上回る15%台の見込み

レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	581	550
ニコン	70	70
交換レンズ (万本)		
市場規模	940	920
ニコン	116	115

半導体デバイスの製造工程とニコン製品

装置

精機事業



ArF液浸スキャナー
「NSR-S635E」



アライメントステーション
「Litho Booster」



自動マクロ検査装置
「AMI-5700」



ウエハ外観検査装置
「OST-3200」

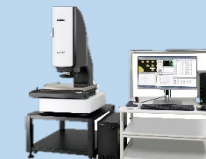


CIS検査用照明装置
「N-SIS9」

デジタルマニュファクチャリング事業



工業顕微鏡
ECLIPSEシリーズ+ウエハローダー



画像測定システム
「NEXIV VMZ」シリーズ

半導体メーカーに納入

半導体デバイスの製造工程

前工程

成膜

露光

検査

後工程

基板製造

実装

検査

製造装置・検査計測装置メーカー（インテグレータ）へ提供



搬送ロボット向け
エンコーダ

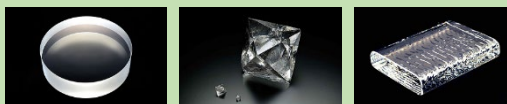


製造ライン・設備のモニタリング用途
FAカメラ「LuFact」



コンポーネント事業

光学素材



光学コンポーネント

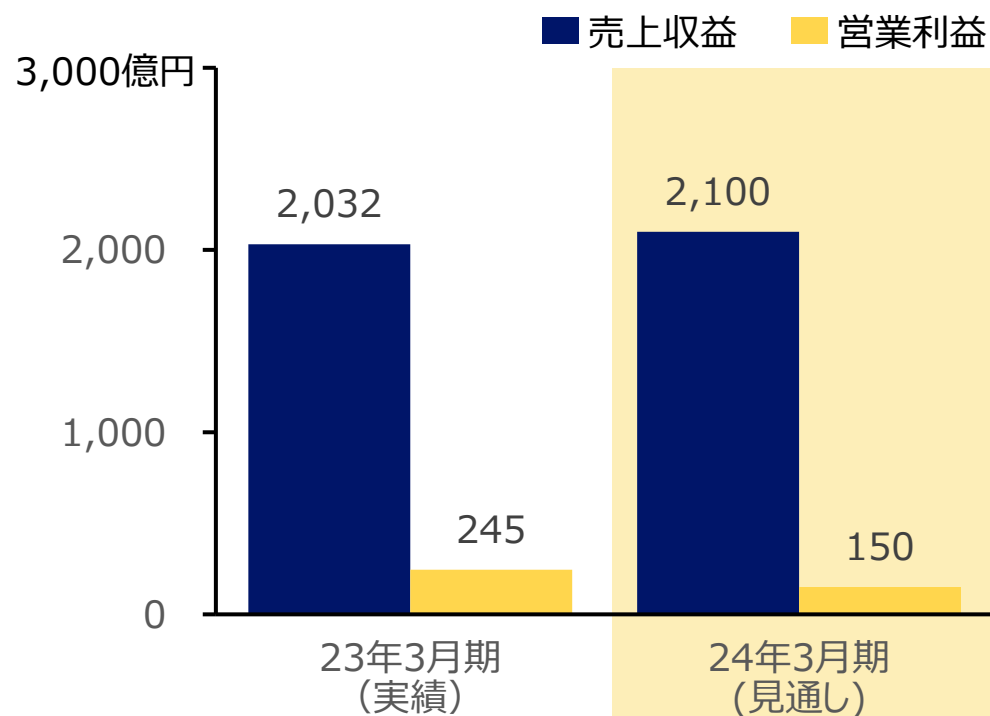


高性能産業用カメラレンズ
「Rayfact」



部品・コンポーネント

2024年3月期 通期見通し：精機事業



● 売上収益：前年比 68億円増収

- FPD露光装置は、顧客の設備投資の繰り延べにより、販売台数が大幅に減少し減収
- 半導体露光装置は、設備投資需要一服の影響はあるものの、主要顧客以外への拡販により増収
- サービスビジネスは市況の停滞により減収も、精機事業全体としては増収

● 営業利益：前年比 95億円減益

- FPD露光装置は、販売台数減少の影響から大幅減益
- 半導体露光装置は、ArF露光装置の販売台数増加により増益
- 精機事業全体では、FPD露光装置事業の減益を半導体露光装置事業の増益で打ち返せず減益

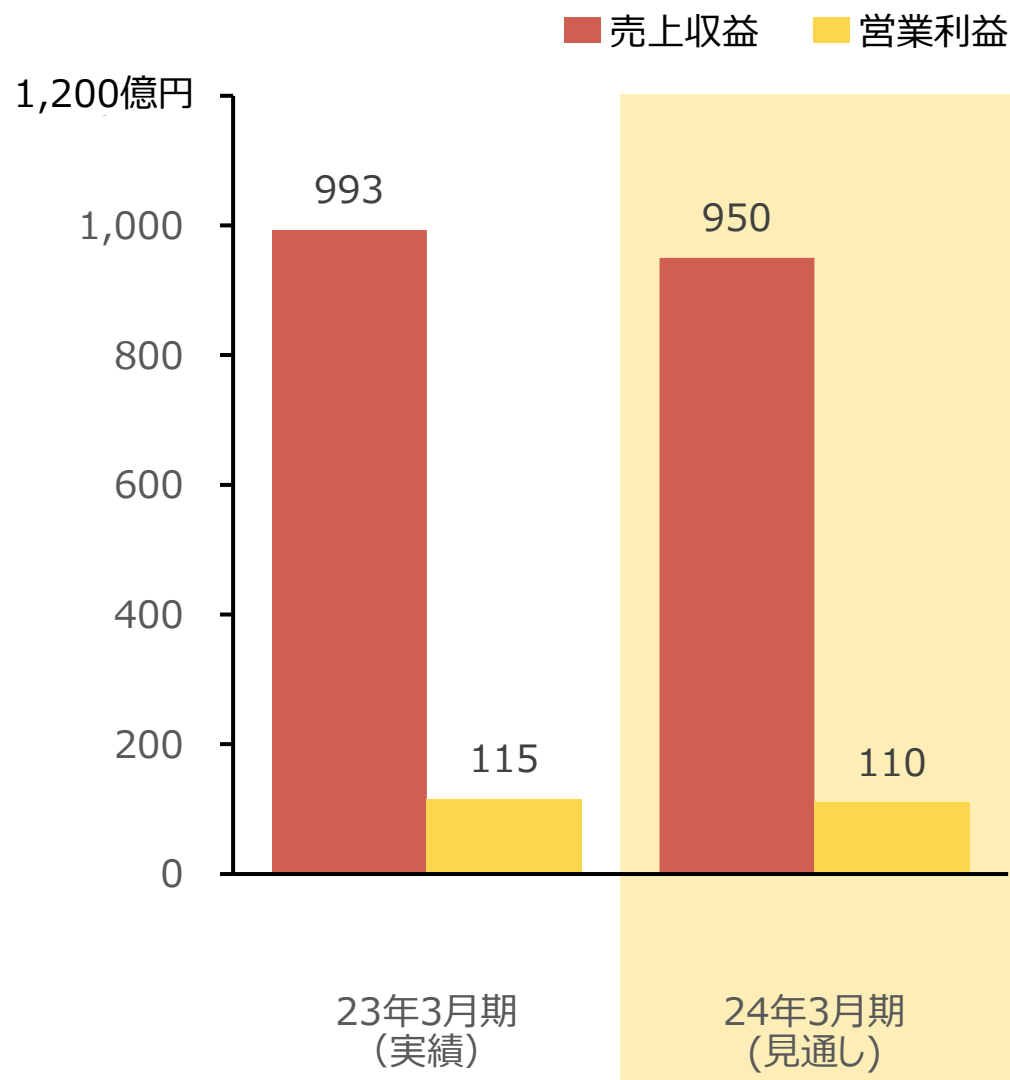
FPD露光装置販売台数 (台)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)
市場規模 (CY22/23)	79	50
ニコン	29	12

半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)
市場規模 (CY22/23)	480	430
ニコン	27/18	33/15

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値



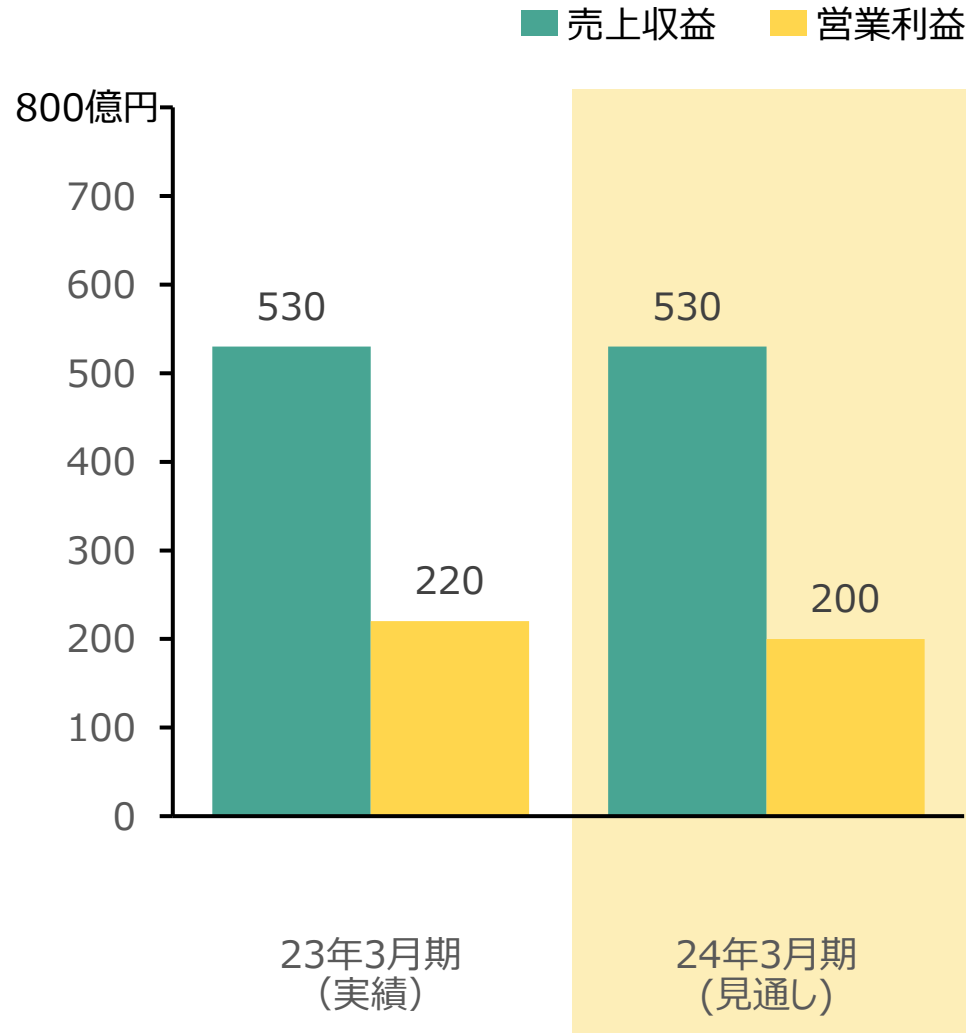
● 売上収益：前年比 43億円減収

- ライフサイエンス（生物顕微鏡）は、民間市場の開拓や創薬支援・ソリューションの強化により、北米、中国を中心とした拡販を見込む
- アイケア（網膜画像診断機器）は、眼科診断機器市場は安定的成長も、前年の大口商談影響剥落により、減収を見込む
- 全体として堅調だが、円安効果の剥落により微減収

● 営業利益：前年比 5億円減益

- 円安効果の剥落を除くと前年並み

2024年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



● 売上収益：前年並み

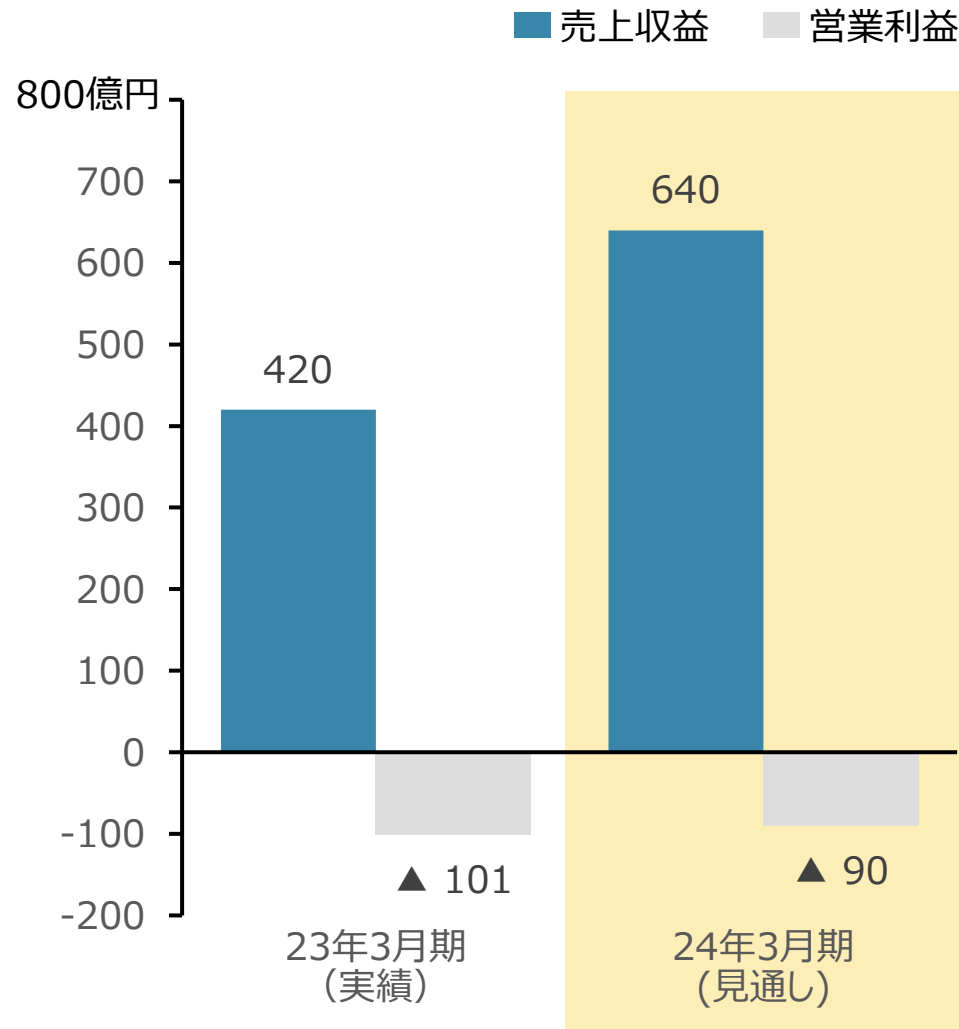
- EUV関連コンポーネントは堅調
- 光学部品・光学コンポーネントは、半導体市場が調整局面にあるものの、引き続き需要は強く、売上堅調
- 半導体関連以外の特注品の減収等により事業全体では前年並み

● 営業利益：前年比 20億円減益

- 半導体関連では、量産化フェーズに入った一部コンポーネント製品の先行投資回収の一服により減益
- 事業全体で、35%を超える高い営業利益率を維持

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



● 売上収益：

- 産業機器事業部と新設のアドバンスマニュファクチャリング（ADM）事業部からなる新セグメント
- 産業機器事業では画像測定システムやX線/CT検査装置等の拡販により増収を見込む
- X線事業の開発・製造・販売を強化のため、米国のAvonix Imaging LLCの子会社化手続きを開始(*)
- 前年度に買収したSLM社が年間を通してADM事業の業績に寄与し、売上収益はセグメント全体で640億円を見込む

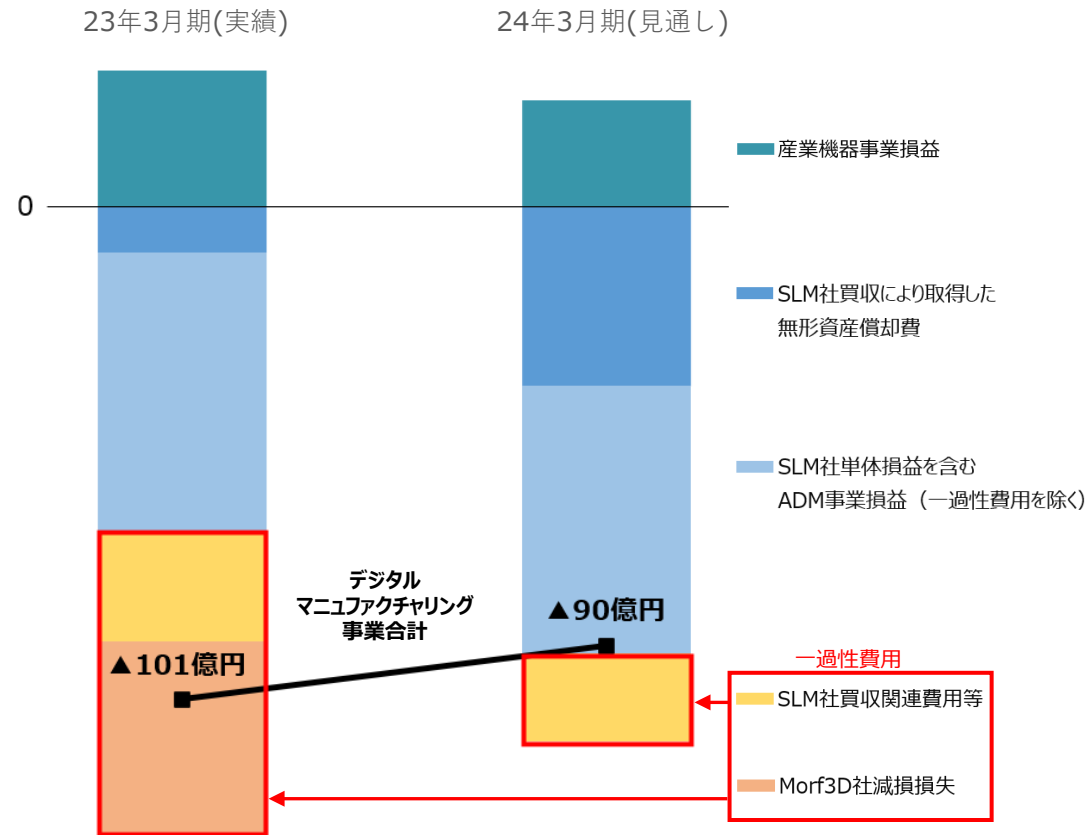
● 営業利益：

- 産業機器事業は販売増による増益を見込むものの、先行投資や一時的な部材高騰の影響のため前年比微減
- ADM事業は、研究開発などの先行投資に加え、事業立ち上げに伴う一過性費用や、SLM社買収による無形資産の償却費（36億円）により営業赤字となる見込み
- デジタルマニュファクチャリング事業全体でも営業赤字の見込み

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

(*)必要な許認可等の取得及び本件のクロージング条件の充足を条件とする

デジタルマニュファクチャリング事業 営業利益内訳



注：23年3月期のSLM社買収により取得した無形資産の償却費は、23年1-3月期の3か月分のみ計上

Morf3D社減損損失 (39億円)

- ADM事業部発足に伴い、同社の位置付けを見直し
- 受託生産ビジネスに加え、宇宙・航空・防衛等における知見や各種認証を活かした**付加加工アプリケーションの開発に注力**
- 資産価値の再評価を行い、**固定資産・のれん等の減損損失計上**

SLM社買収 PPA

- 買収対価812億円 (持分比率92.38%)
- 2023年1月に無形資産336億円、のれん477億円を計上

勘定科目	資産内容	金額	償却年数
無形資産	技術関連資産	331億円	10年
	顧客関連資産	4億円	1年
のれん		477億円	-

注：為替レートは 1ユーロ=141.47円

SLM社単体の業績 (フランクフルト上場企業としての3月23日付け開示内容)

- 22年通期 (1-12月) のEBITDAは7.8百万ユーロの赤字。四半期ベースではニコンとの統合費用を除くと22年1-3月期を除き、3四半期連続で黒字
- 23年の予想: マネジメント・ボードはEBITDAの大幅な改善を期待している。Dirk Ackermann CFO 「四半期ベースでは損益分岐点に達しており、23年度は営業利益率のさらなる向上を目指す」

SLM社のPMIは順調に進捗。デジタルマニュファクチャリング事業の早期黒字化を目指す

参考資料

ニコンの事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主な事業、製品	製品例
映像事業	レンズ交換式デジタルカメラ 交換レンズ レンズ一体型デジタルカメラ	    <p>ミラーレスカメラ「Z 8」 ミラーレスカメラ「Z 30」 「NIKKOR」レンズ 「NIKKOR Z DX12-28mm f/3.5-5.6 PZ VR」</p>
精機事業	FPD露光装置 半導体露光装置 アライメントステーション 計測・検査装置	    <p>FPDスキャナー「FX-88S」 ArF液浸スキャナー「NSR-S635E」 アライメントステーション「Litho Booster」 自動マクロ検査装置「AMI-5700」</p>
ヘルスケア事業	生物顕微鏡 網膜画像診断機器 細胞受託生産	   <p>共焦点レーザー顕微鏡システム「AX/AX R」 SS-OCT付き超広角走査型レーザー検眼鏡「Silverstone」 細胞受託生産</p>
コンポーネント事業	EUV関連コンポーネント 光学部品、光学コンポーネント エンコーダ・アクチュエータ FPDフォトマスク基板	     <p>光学部品 光学コンポーネント 多回転アブソリュートエンコーダ「MAR-M50A」 インテリジェントアクチュエータユニット「C3 eMotion」 FPDフォトマスク基板</p>
デジタル マニュファクチャリング事業	金属3Dプリンター 光加工機、材料加工受託 測定機、X線検査装置 工業用顕微鏡	    <p>金属3Dプリンター「NXG XII 600」 光加工機「Lasermeister 102A」 画像測定システム「NEXIV VMZ-S」シリーズ レーザレーダ「APDIS」シリーズ</p>

2023年3月期 通期：財務ハイライト



単位：億円	20年3月期	21年3月期	22年3月期			23年3月期		
	通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	5,910	4,512	2,730	2,666	5,396	2,883	3,398	6,281
営業利益	67	▲562	321	178	499	244	305	549
営業利益率	1.1%	▲12.5%	11.8%	6.7%	9.3%	8.5%	9.0%	8.7%
税引前利益	118	▲453	359	211	570	260	310	570
税引前利益率	2.0%	▲10.0%	13.2%	7.9%	10.6%	9.0%	9.1%	9.1%
当期利益*	76	▲344	264	162	426	188	261	449
当期利益率	1.3%	▲7.6%	9.7%	6.1%	7.9%	6.5%	7.7%	7.2%
EPS	19.93円	▲93.96円	116.23円			125.46円		
年間配当	40円	20円	40円			45円		
ROE	1.3%	▲6.4%	7.5%			7.4%		
FCF	▲48	229	309			▲1,121		
為替：USドル	109円	106円	110円	115円	112円	134円	137円	135円
ユーロ	121円	124円	131円	130円	131円	139円	143円	141円

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年3月期 通期：セグメント別実績



単位：億円		22年3月期			23年3月期		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	892	890	1,782	1,145	1,126	2,271
	営業利益	125	65	190	222	200	422
精機事業	売上収益	1,192	920	2,112	833	1,199	2,032
	営業利益	275	119	394	62	181	243
ヘルスケア事業	売上収益	330	402	732	466	527	993
	営業利益	9	34	43	36	79	115
コンポーネント事業	売上収益	167	241	408	260	279	539
	営業利益	34	93	127	98	48	146
産業機器・その他	売上収益	146	214	360	176	267	443
	営業利益	▲16	45	29	15	21	36
全社費用等	営業利益	▲107	▲179	▲286	▲191	▲224	▲415
	内、成長投資関連費用	▲105	▲113	▲218	▲108	▲123	▲231
	内、本社管理部門費用	▲22	▲57	▲79	▲70	▲87	▲157
	内、セグメント間消去	19	▲7	12	▲13	▲13	▲26
連結	売上収益	2,730	2,666	5,396	2,883	3,398	6,281
	営業利益	321	178	499	244	305	549

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え前の数値

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「全社費用等（成長投資関連費用）」に移管、2022年3月期へ遡及適用

2023年3月期 通期：新セグメント別四半期実績



単位：億円		23年3月期				
		Q1	Q2	Q3	Q4	通期
映像事業	売上収益	612	533	699	427	2,271
	営業利益	136	86	190	10	422
精機事業	売上収益	414	419	502	697	2,032
	営業利益	39	23	81	102	245
ヘルスケア事業	売上収益	217	249	255	272	993
	営業利益	8	28	36	43	115
コンポーネント事業	売上収益	128	128	118	156	530
	営業利益	59	54	45	62	220
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	74	88	98	160	420
	営業利益	▲9	▲19	▲10	▲63	▲101
その他	売上収益	9	8	8	7	32
	営業利益	7	3	0	16	26
全社費用等	営業利益	▲87	▲85	▲81	▲127	▲380
	内、成長投資関連費用	▲50	▲51	▲56	▲59	▲216
	内、本社管理部門費用	▲27	▲31	▲33	▲44	▲135
	内、セグメント間消去	▲9	▲3	8	▲23	▲27
連結	売上収益	1,456	1,427	1,677	1,721	6,281
	営業利益	153	91	262	43	549

注：セグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期			24年3月期 見通し			前年比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	2,883	3,398	6,281	3,350	3,300	6,650	+467	▲98	+369
営業利益	244	305	549	200	230	430	▲44	▲75	▲119
営業利益率	8.5%	9.0%	8.7%	6.0%	7.0%	6.5%			
税引前利益	260	310	570	220	240	460	▲40	▲70	▲110
税引前利益率	9.0%	9.1%	9.1%	6.6%	7.3%	6.9%			
当期利益*	188	261	449	170	180	350	▲18	▲81	▲99
当期利益率	6.5%	7.7%	7.1%	5.1%	5.4%	5.3%			
EPS	125.46円			101.11円			▲24.35円		
年間配当	45円			50円			+5円		
ROE	7.4%			5.6%			▲1.8P		
為替：USD	134円	137円	135円	130円			▲5円		
ユーロ	139円	143円	141円	140円			▲1円		

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2024年3月期 通期見通し：新セグメント別見通し



単位：億円

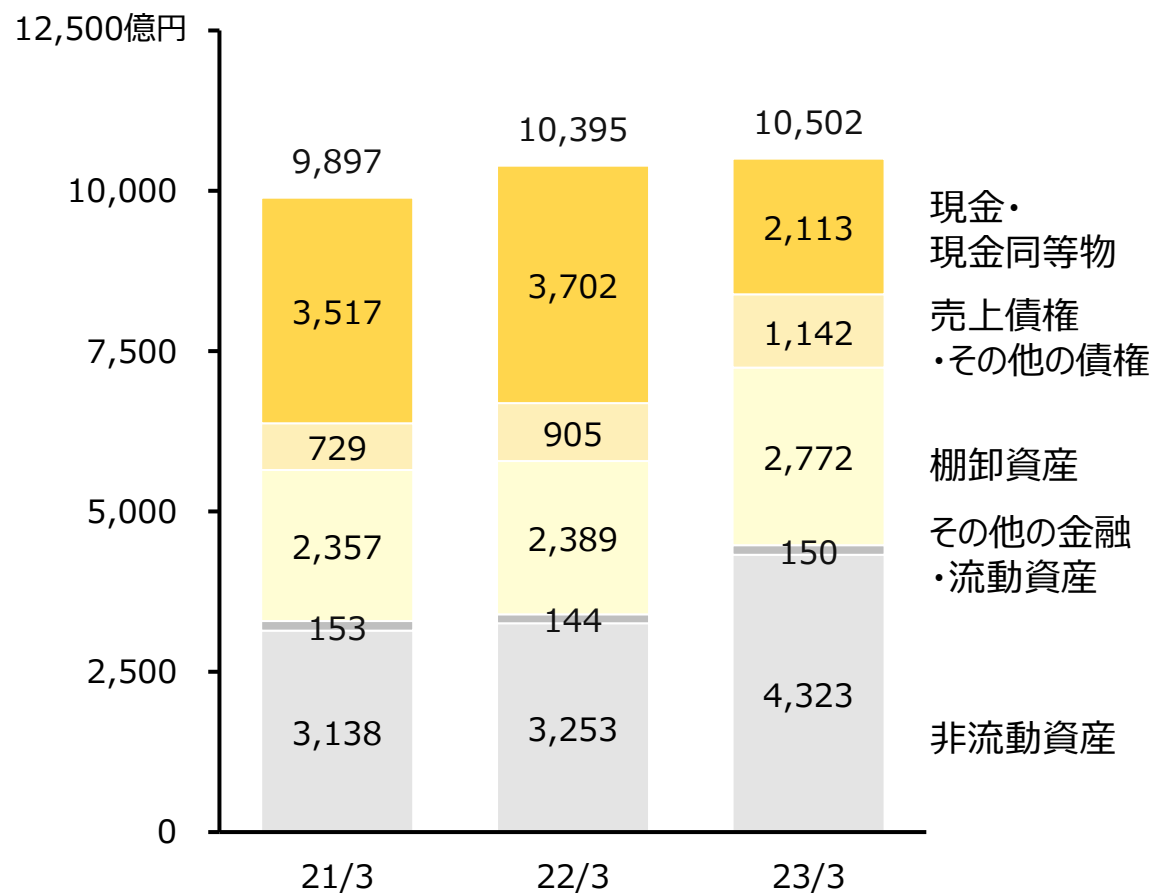
	23年3月期			24年3月期 見通し			前年比			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
映像事業	売上収益	1,145	1,126	2,271	1,250	1,150	2,400	+105	+24	+129
	営業利益	222	200	422	220	160	380	▲2	▲40	▲42
精機事業	売上収益	833	1,199	2,032	1,100	1,000	2,100	+267	▲199	+68
	営業利益	62	183	245	70	80	150	+8	▲103	▲95
ヘルスケア事業	売上収益	466	527	993	450	500	950	▲16	▲27	▲43
	営業利益	36	79	115	40	70	110	+4	▲9	▲5
コンポーネント事業	売上収益	256	274	530	240	290	530	▲16	+16	±0
	営業利益	113	107	220	80	120	200	▲33	+13	▲20
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	162	258	420	290	350	640	+128	+92	+220
	営業利益	▲28	▲73	▲101	▲50	▲40	▲90	▲22	+33	+11
その他	売上収益	17	15	32	20	10	30	+3	▲5	▲2
	営業利益	10	16	26	10	30	40	±0	+14	+14
全社費用等	営業利益	▲172	▲208	▲380	▲170	▲190	▲360	+2	+18	+20
	内、成長投資関連費用	▲101	▲115	▲216	▲100	▲100	▲200	+1	+15	+16
	内、本社管理部門費用	▲58	▲77	▲135	▲70	▲90	▲160	▲12	▲13	▲25
	内、セグメント間消去	▲12	▲15	▲27	-	-	-	+12	+15	+27
連結	売上収益	2,883	3,398	6,281	3,350	3,300	6,650	+467	▲98	+369
	営業利益	244	305	549	200	230	430	▲44	▲75	▲119

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

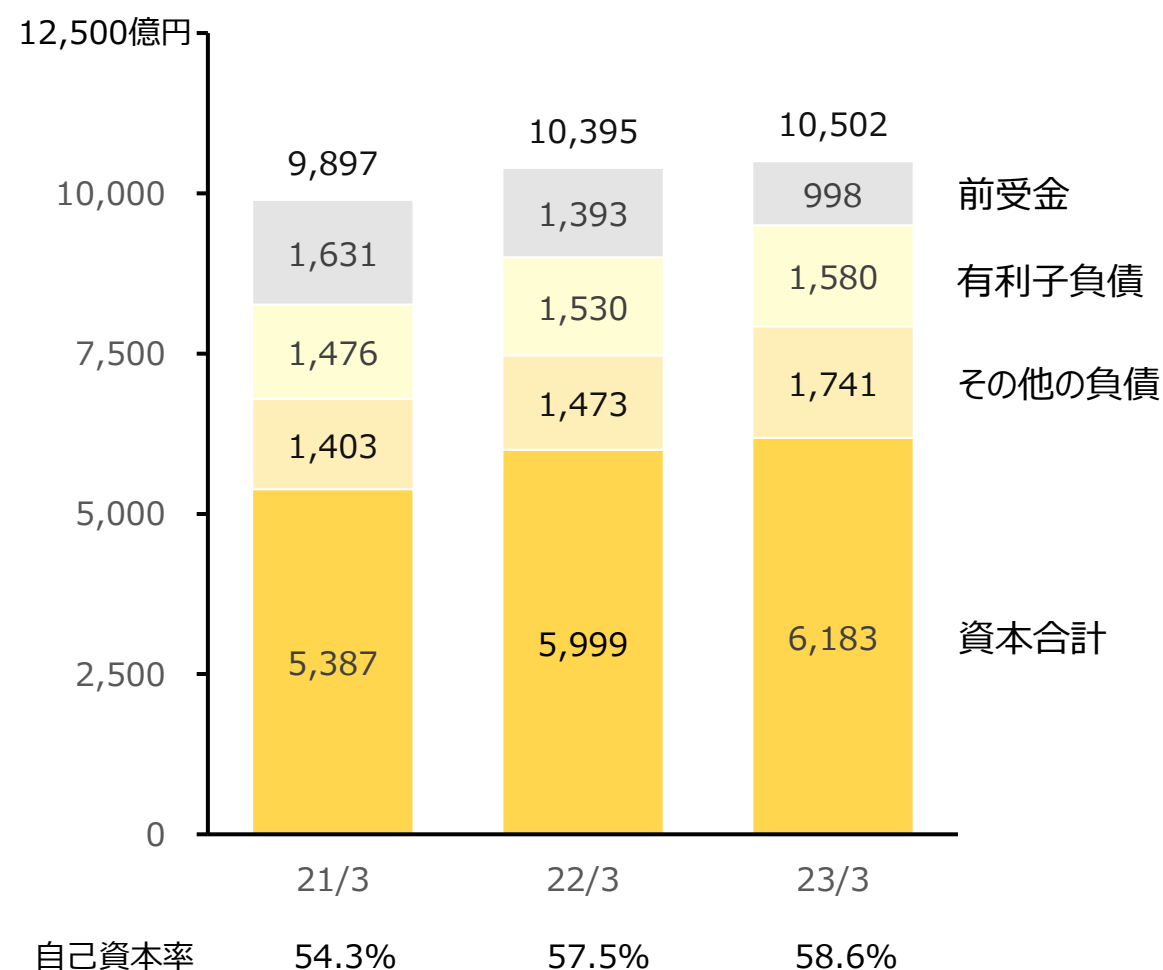
2023年3月期 通期：財政状態計算書



資産

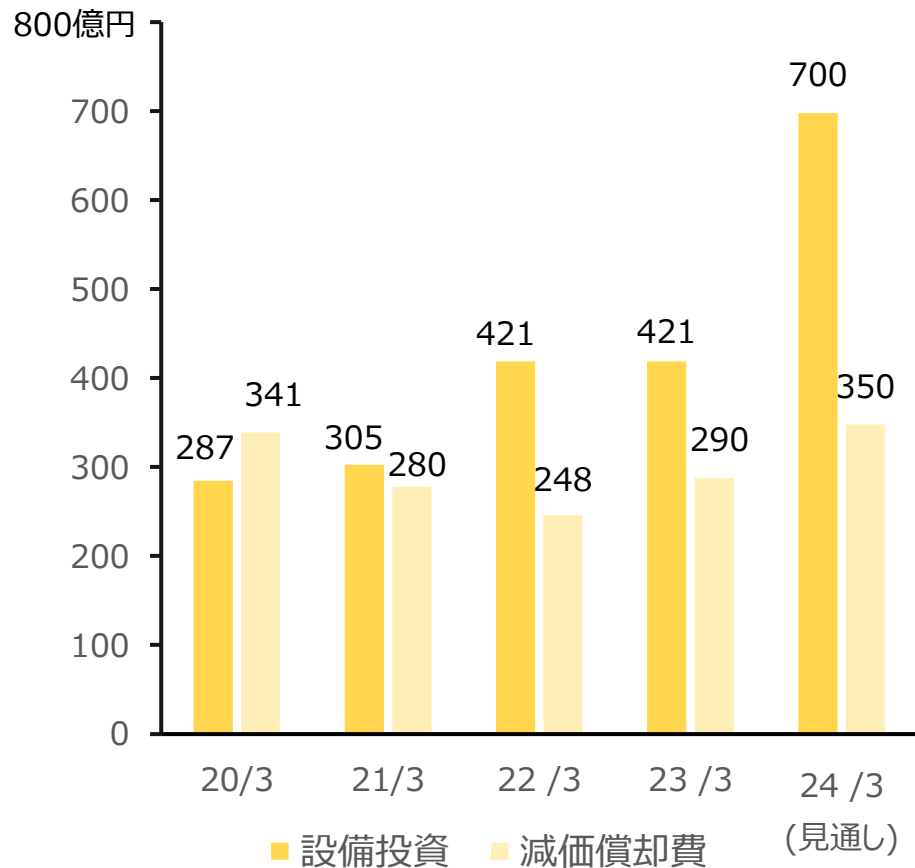


負債・資本

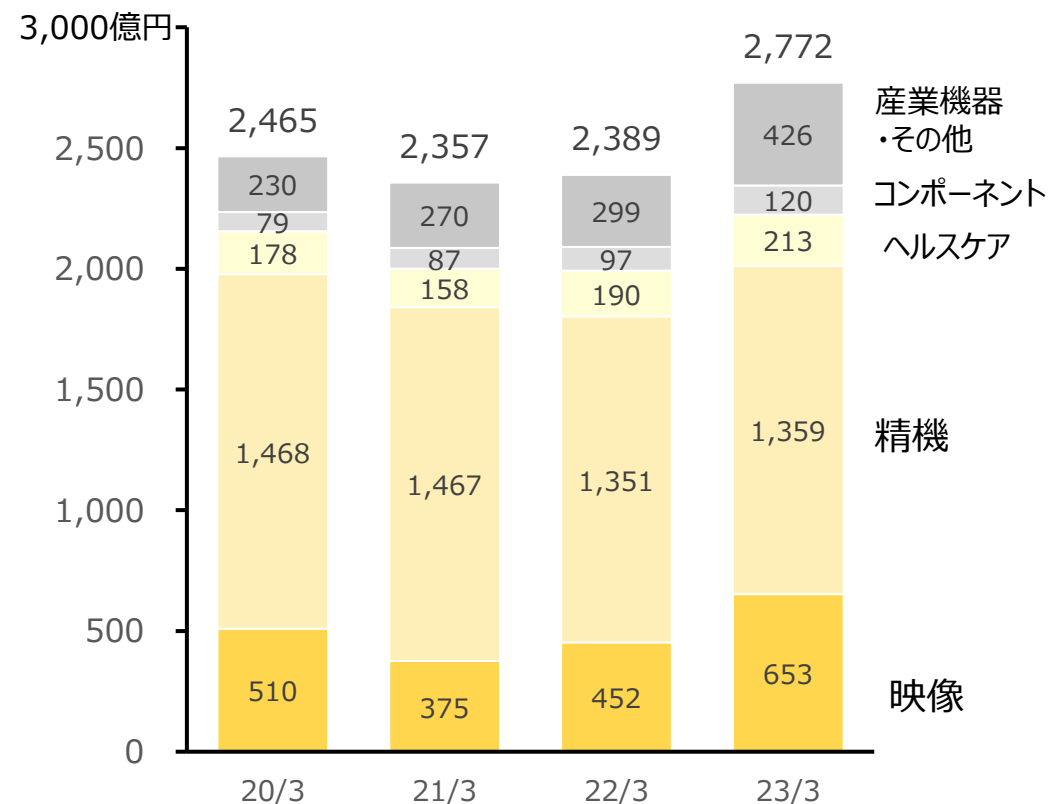


注：自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

設備投資・減価償却費



棚卸資産

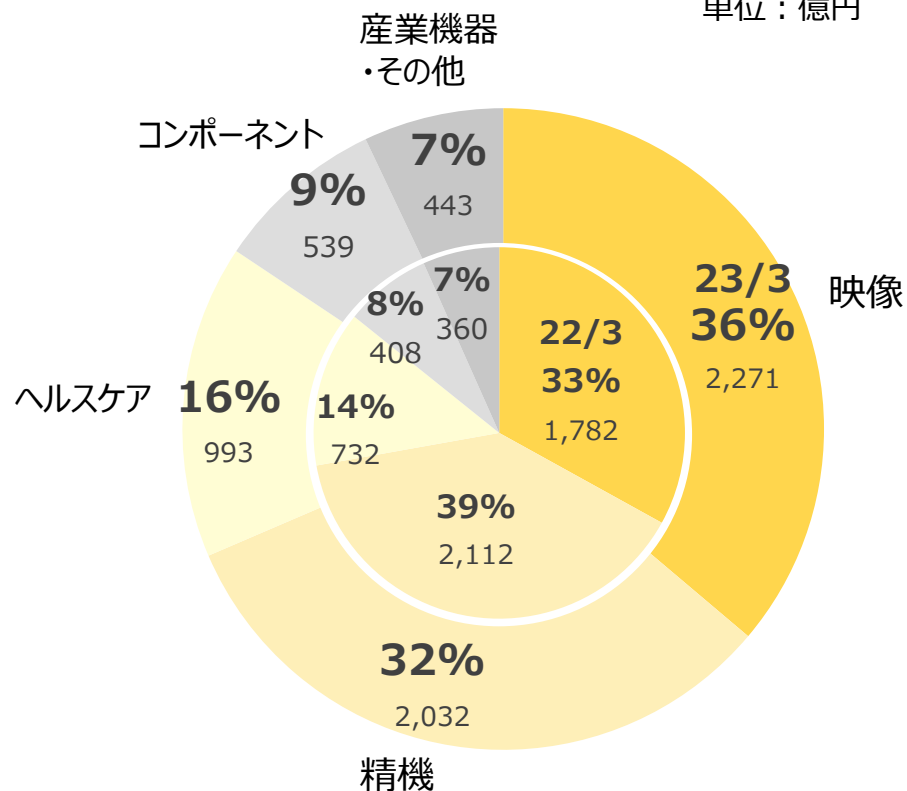


注: 「設備投資」 使用权資産を含む

注: 「減価償却費」 使用权資産、企業結合により取得した有形固定資産の減価償却費や無形資産の償却費を含む

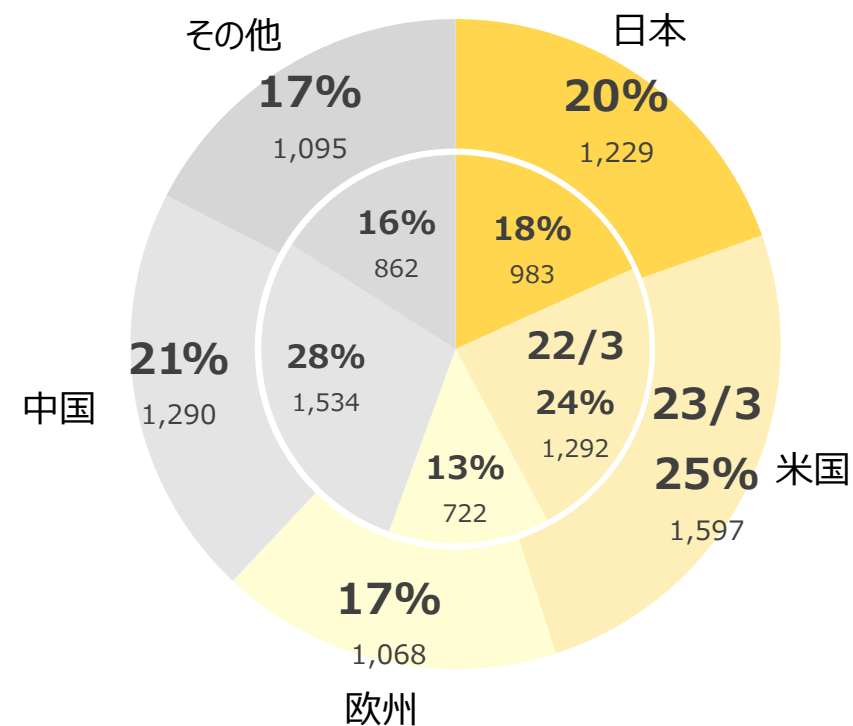
セグメント別内訳

単位：億円



地域別内訳

単位：億円

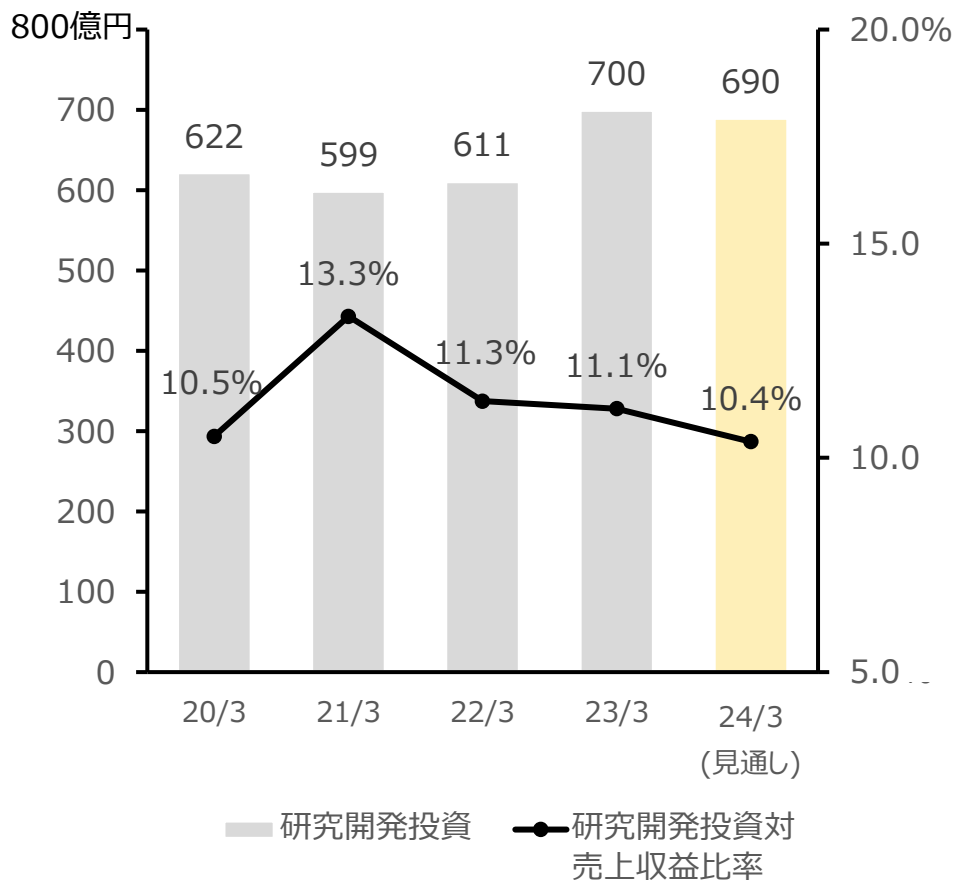


注：外円は「2023年3月期 通期売上収益6,281億円」の内訳、内円は「2022年3月期 通期売上収益5,396億円」の内訳を表示

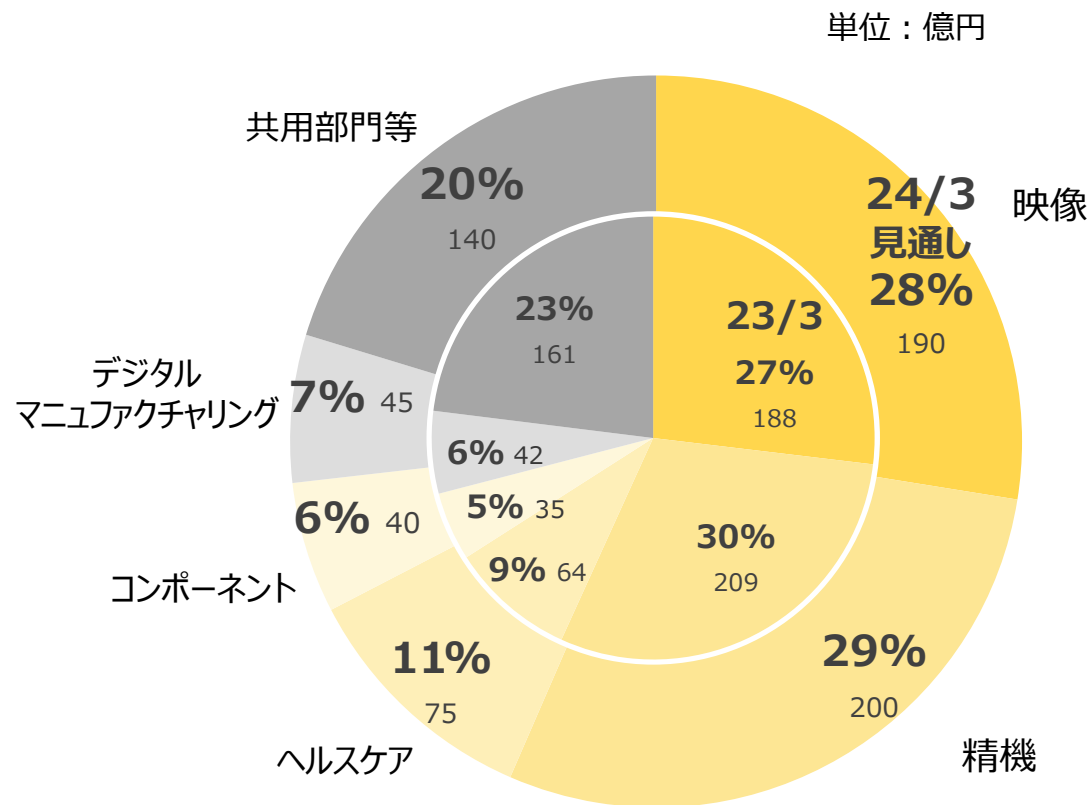
2024年3月期 通期見通し：研究開発投資



研究開発投資



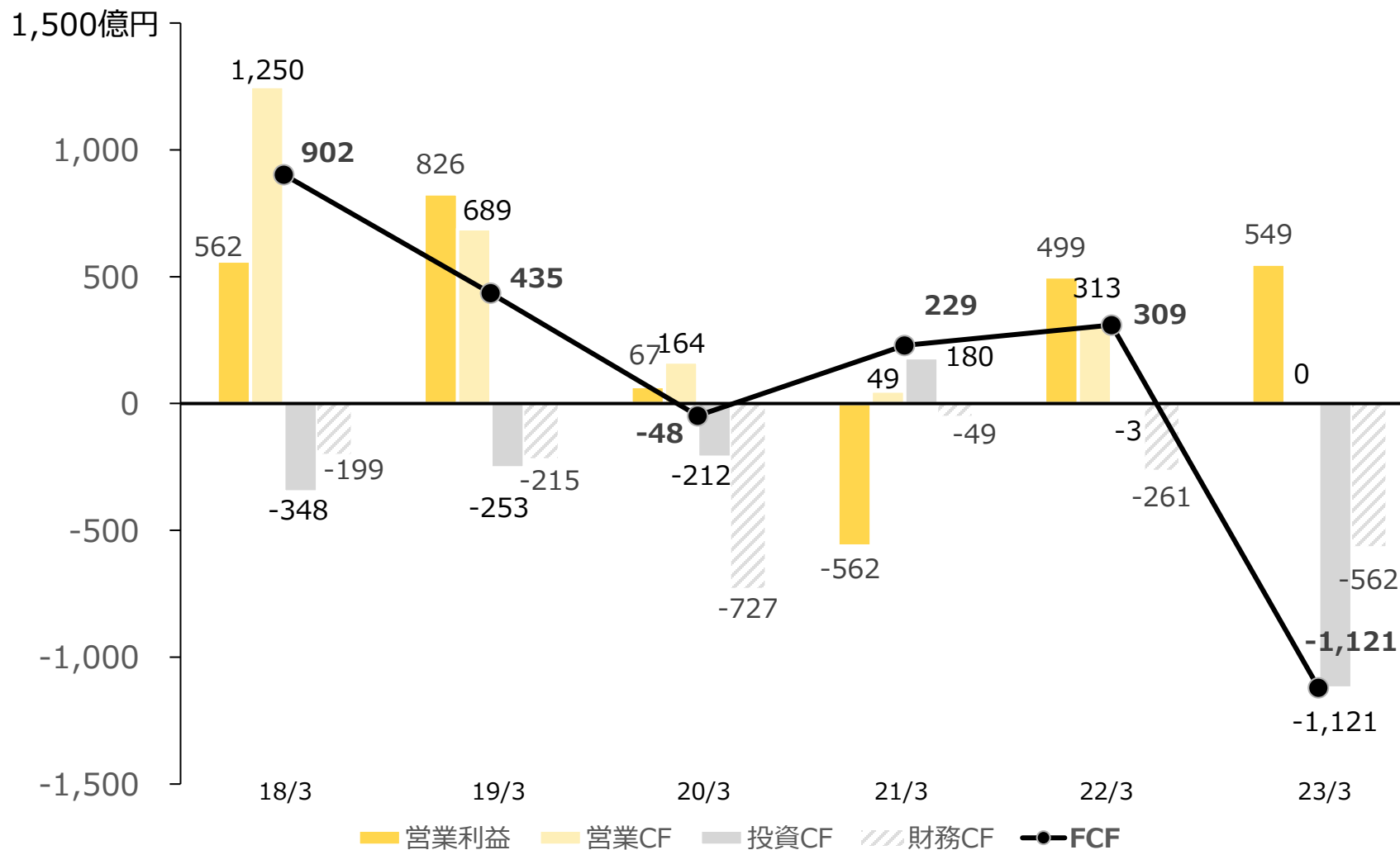
研究開発投資内訳



注：「研究開発投資」には、資産化された開発投資を含めて表示

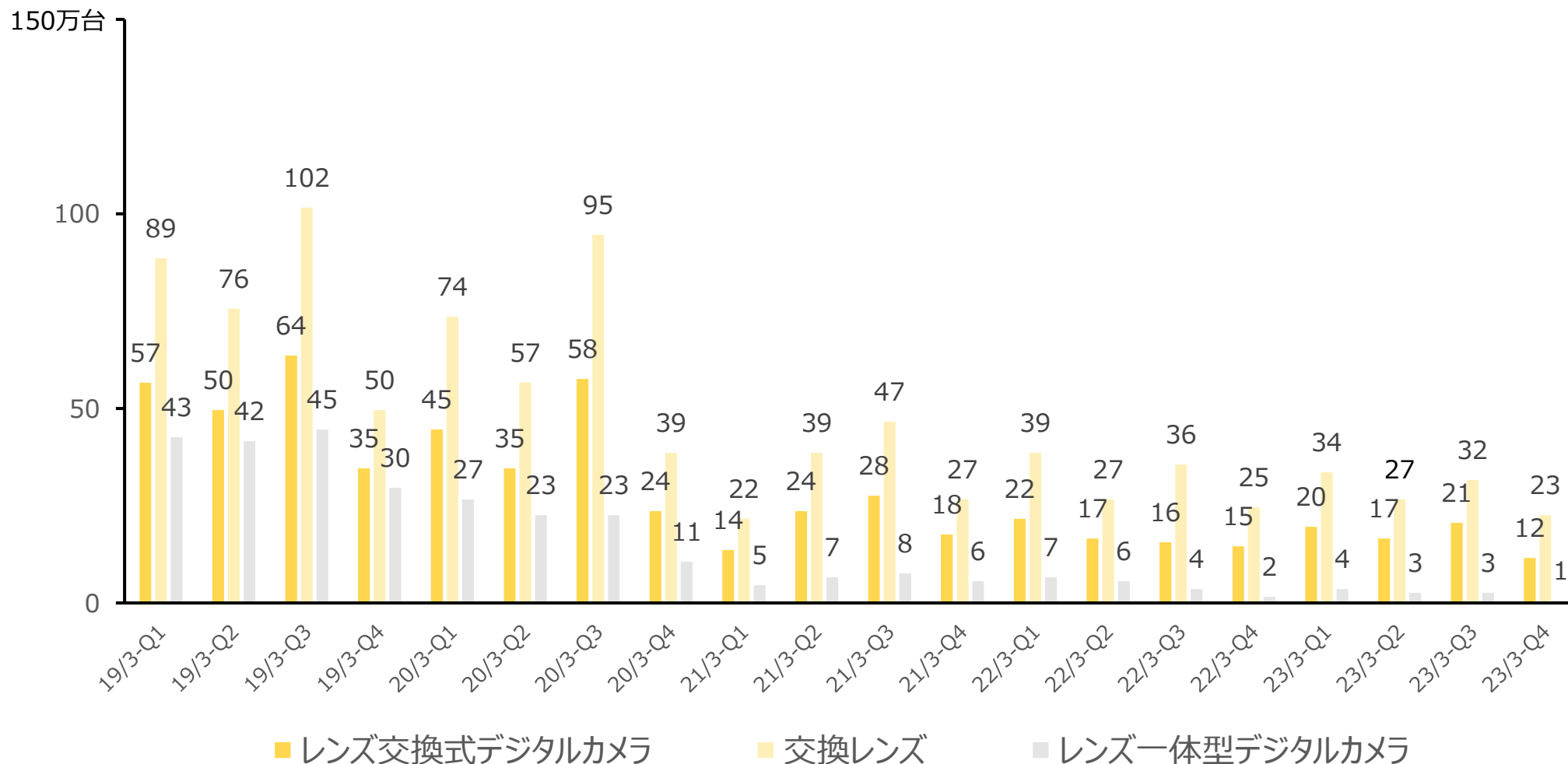
注：「研究開発投資内訳」は、2024年3月期からの開示セグメント変更に伴い、2023年3月期の財務数値を変更後の表示に合わせ、組み替えて表示

キャッシュフロー推移



注: FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減

製品カテゴリー別内訳

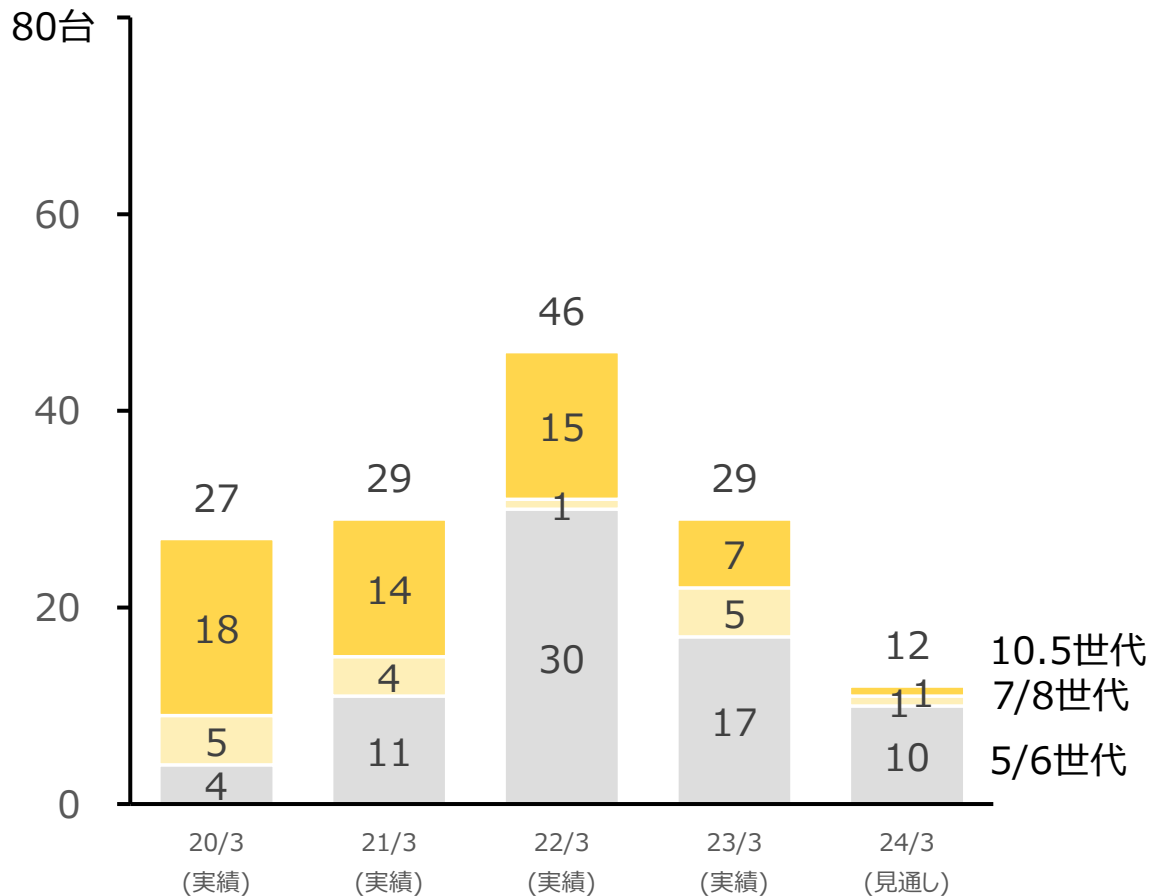


注: レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）

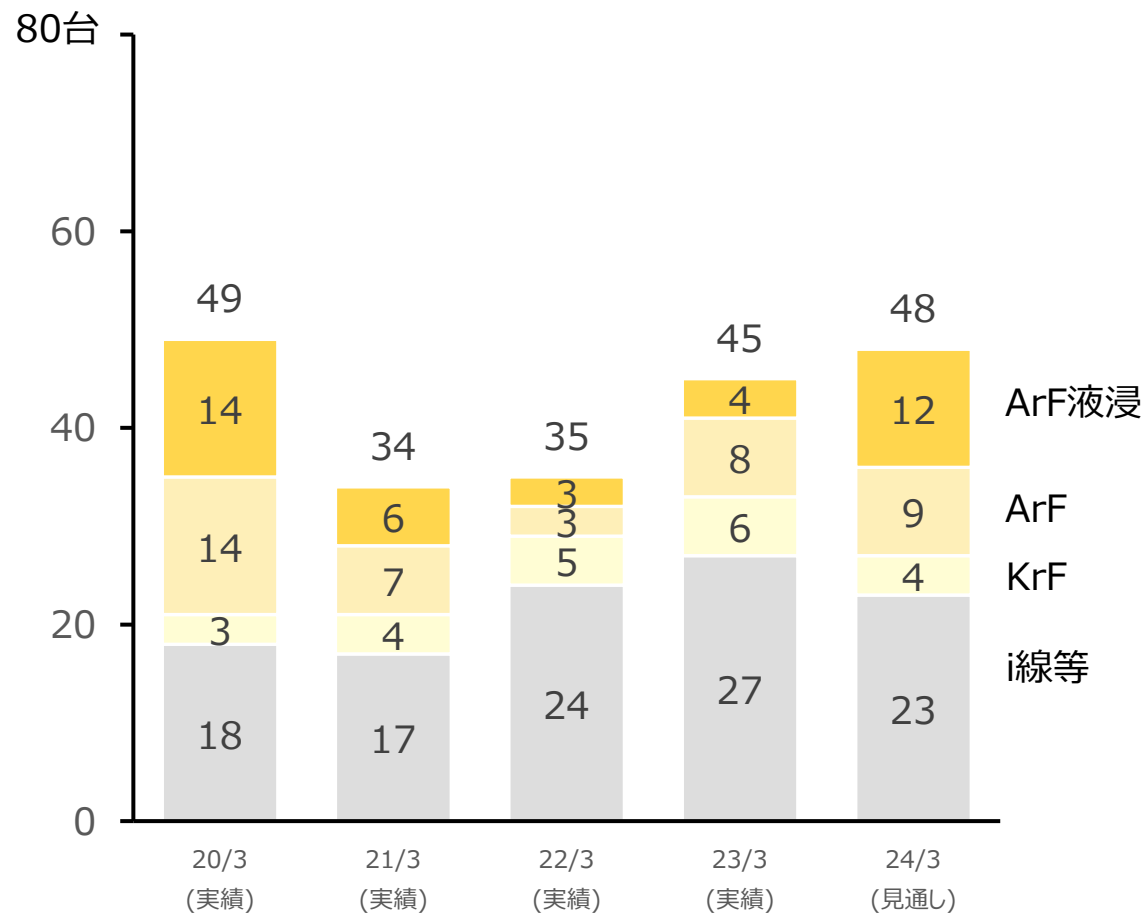
2024年3月期 通期見通し：精機事業 販売台数



FPD露光装置世代別内訳



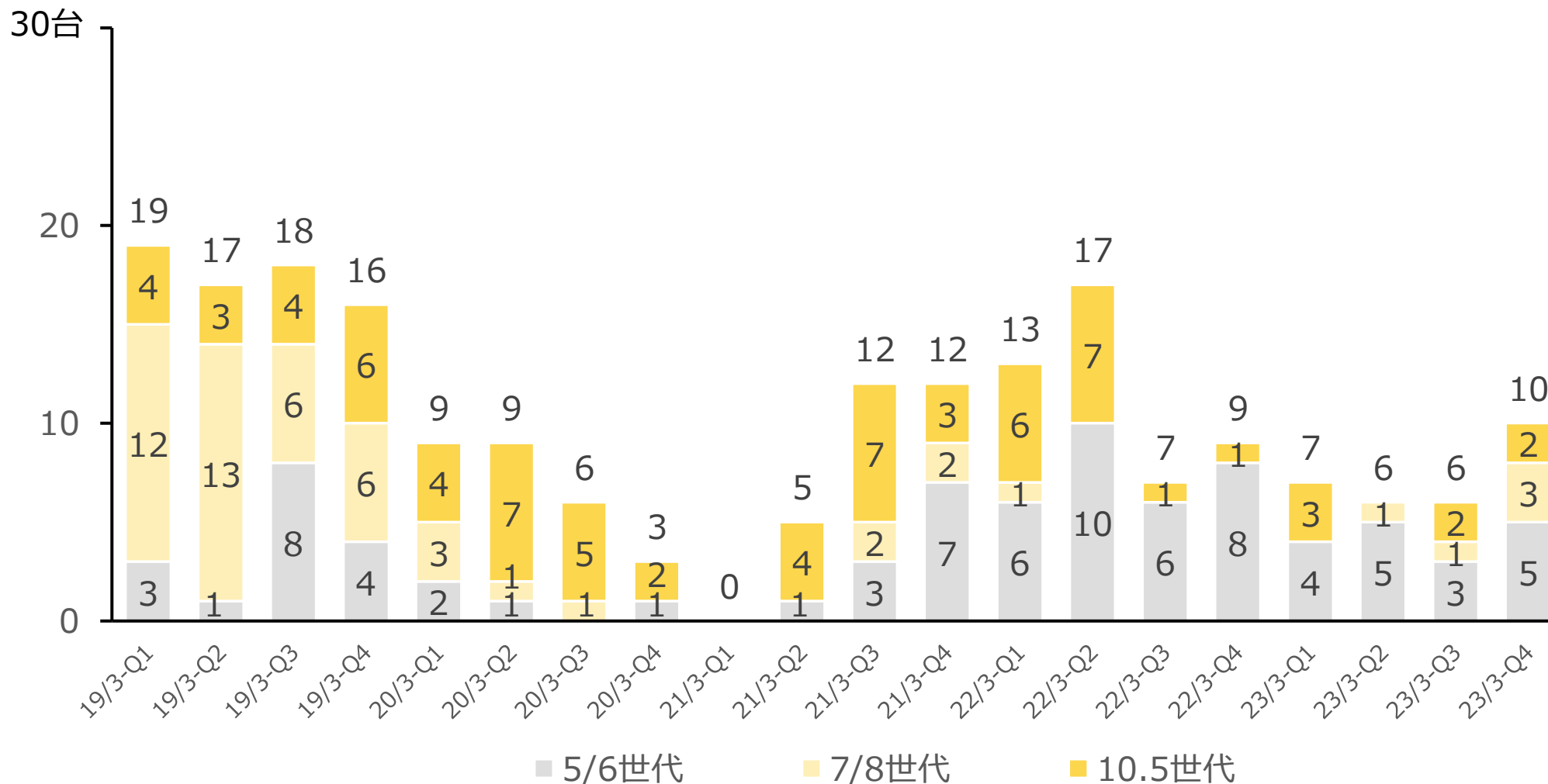
半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



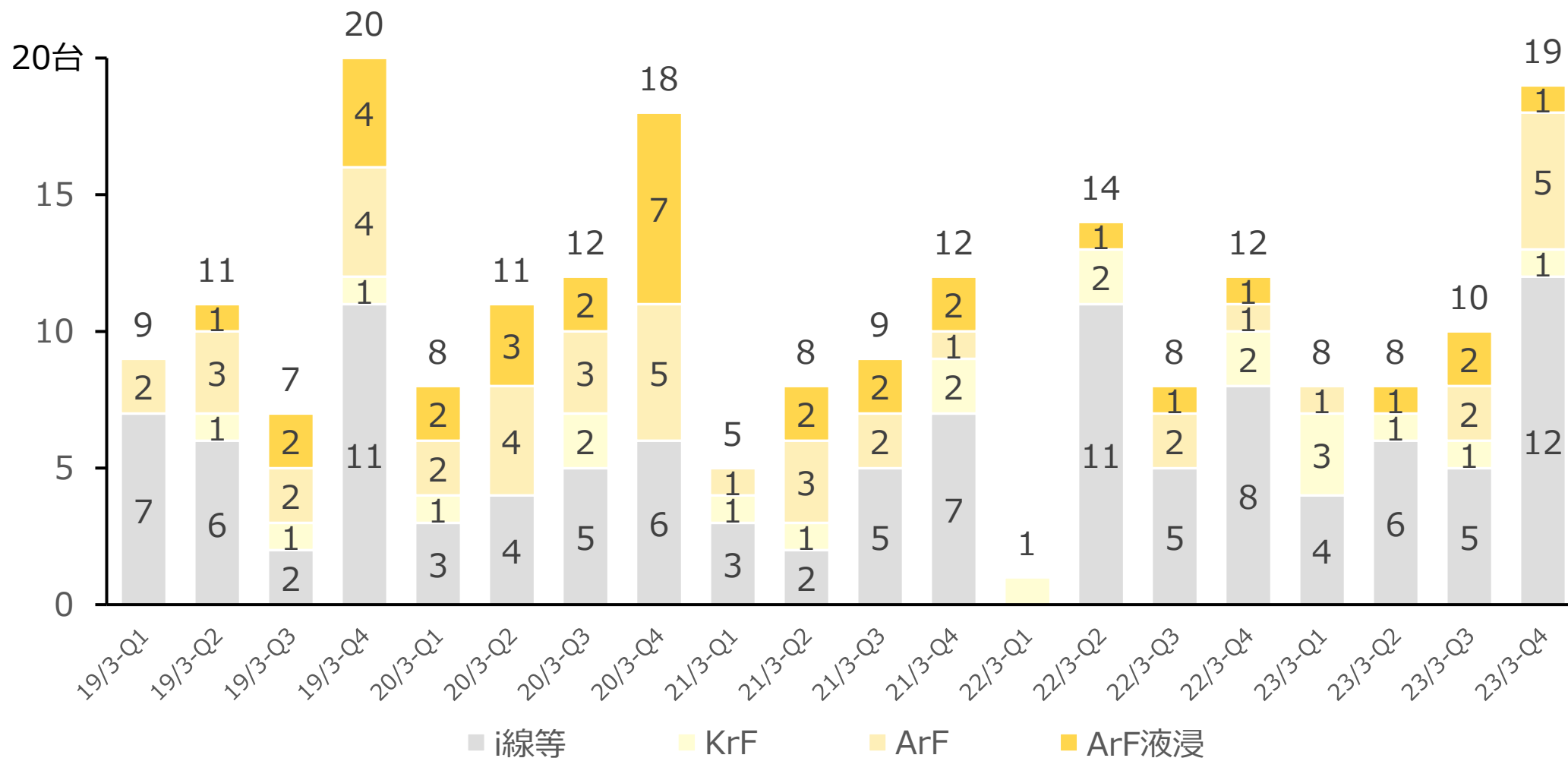
注：半導体露光装置台数の「i線等」には、i線を含む非微細化領域の露光装置（ミニステッパー）を含む

注：半導体露光装置の新品の台数は、2020年3月期は38台、2021年3月期は23台、2022年3月期は17台、2023年3月期は27台、2024年3月期は33台（予定）

FPD露光装置世代別内訳



半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



注：半導体露光装置台数の「i線等」には、i線を含む非微細化領域の露光装置（ミニステッパー）を含む

2024年3月期 通期見通し：為替の影響



	為替レート	1円の変動による影響額	
	24年3月期 前提	売上収益	営業利益
USドル	130円	約17億円	約4億円
ユーロ	140円	約8億円	約3億円

注：上記は新興国通貨がUSドル、ユーロに連動することを想定

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください

